青森県基本計画
「青森新時代」への架け橋
Aomori Transformation

青森県の畜産

令和８年３月








青森県

目　　次

■　第１章　農業の概要

1　青森県の自然……1
2　農業産出額……2

■　第２章　畜産の概要

1　畜産産出額……3
2　主要家畜の頭羽数……3

■　第３章　家畜飼養動向

1　乳用牛……4
2　肉用牛……6
3　豚……8
4　採卵鶏……10
5　ブロイラー……11
6　その他……12

■　第４章　畜産物の流通と価格

1　牛乳……13
2　肉用牛……15
3　豚……17
4　鶏卵……19
5　ブロイラー……21
6　畜産物支出金額、購入数量…22

■　第５章　畜産物の生産費と収益性

1　生乳……23
2　肉用牛……24
3　豚……26

■　第６章　草地と飼料

1　自給飼料の生産……27
2　草地面積……28
3　配合飼料の生産……29
4　青森県飼料作物奨励品種……30

■　第７章　家畜衛生

1　家畜防疫事業の推移……31
2　監視伝染病発生状況……32

■　第８章　環境保全

環境汚染発生状況……33

■　第９章　参考資料

1　青森県酪農・肉用牛生産
近代化計画の目標……34
2　青森県養豚・養鶏振興プラン
の目標……35
3　畜産行政組織の概要……37
4　試験研究機関……38
5　行政区域・各機関所在地……38
6　畜産関係機関・団体……39
7　畜産関係施設……40
8　県内の特徴的な動き……41
9　県基幹種雄牛……43

第１章　農業の概要

１　青森県の自然

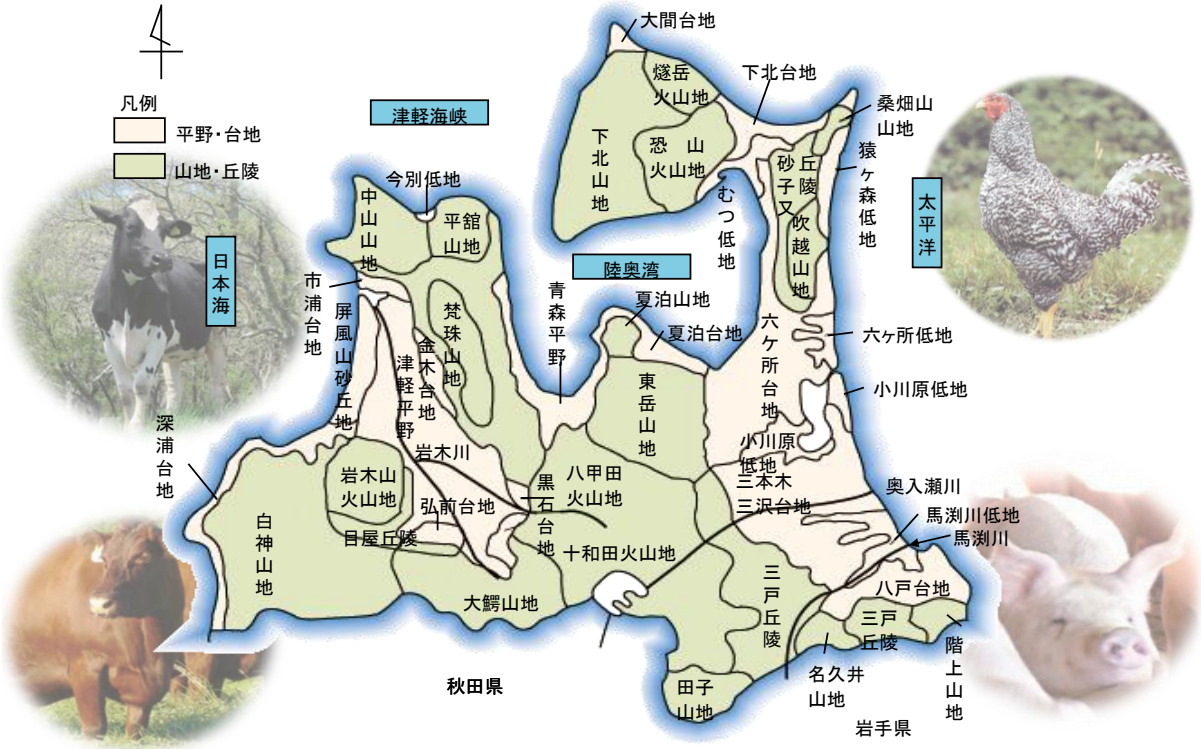
〔位　置〕
本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相対し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。
青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）では約710kmで、時間距離は自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約８時間、鉄道では最短で約3時間、飛行機では約1時間15分となっている。

〔面　積〕
本県の面積は、全国8位の約9,646㎢で全国の約３％を占めているが、人口密度は約128.3人/㎢で全国41位となっており、1人当たりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

〔地　形〕
県の中央部の奥羽山脈を境として、日本海側の津軽地方では、奥羽山脈の延長にある山地と出羽山地の延長にある山地によって囲まれた広大な沖積平野である、肥沃な津軽平野が岩木川流域に広がっている。
また、奥羽山脈の北端には、青森市を中心とした青森平野が広がっている。
一方、太平洋側の県南地方では、北上山地から続く火山灰土に覆われた台地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。
西の津軽半島と東の下北半島はそれぞれ北に延び、両半島の真ん中に陸奥湾が存在する。

〔気　候〕
夏が短く冬が長い冷涼な気候で、四季がはっきりしている。夏季は、津軽地方は比較的気温が高く温暖な日が多いが、県南地方では春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。
冬季は、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では雪の日が多く多雪となるが、県南地方は冷え込みが厳しいものの、晴天の日が多く雪は少ない。

青 森 の 地 質 区 分



本県の面積　9,645.1km²（全国8位）

本県の海岸線総延長　796.5km（全国13位）

資料:
令和２年国勢調査人口等基本集計（総務省）
令和７年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）
平成２８年海岸統計（国土交通省）

2　農業産出額

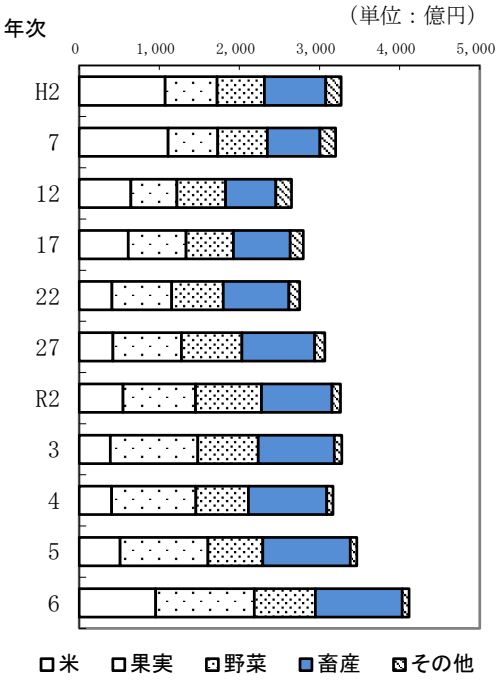
○農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて算出したものである。

（単位：億円）

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
H2	3,270	1,074	647	593	**766**	190
7	3,200	1,109	621	619	**656**	195
12	2,649	647	573	608	**628**	193
17	2,797	613	722	589	**710**	163
22	2,751	410	746	643	**818**	134
27	3,068	422	857	751	**910**	128
R2	3,262	548	906	821	**883**	104
3	3,277	389	1,094	753	**947**	94
4	3,168	405	1,051	657	**979**	76
5	3,466	511	1,096	687	**1,090**	82
6	4,119	955	1,233	762	**1,083**	86

（単位：億円）

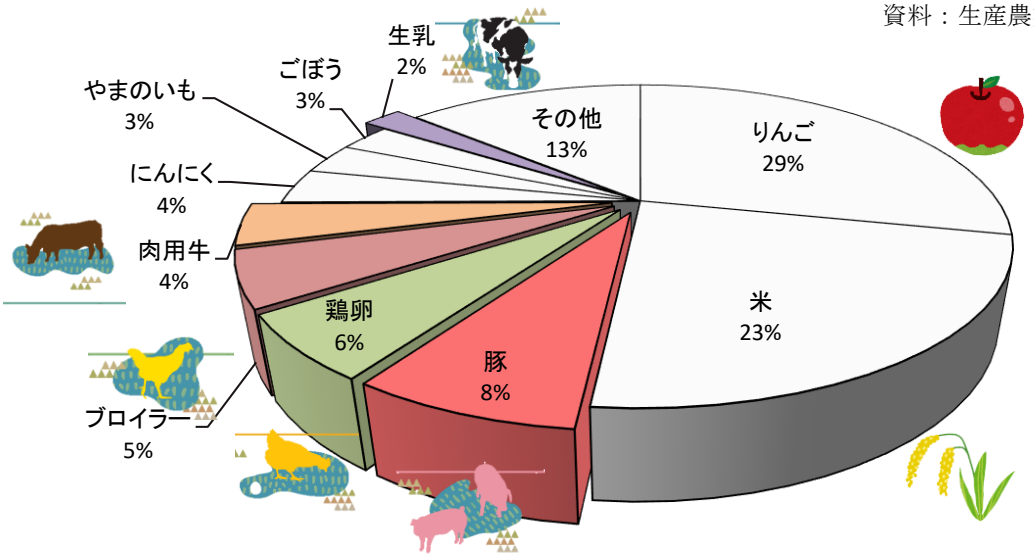


資料：生産農業所得統計

県内産出額上位10品目（令和６年）　　（単位：億円）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	**豚**	**鶏卵**	**ブロイラー**	**肉用牛**	にんにく	やまのいも	ごぼう	**生乳**
産出額	1171	955	**313**	**251**	**223**	**171**	146	130	119	**90**

資料：生産農業所得統計



第２章　畜産の概要

１　畜産産出額

令和６年の畜産産出額は、前年に比べて0.6%減の1,083億円となっており、畜種別では鶏493億円（対前年比4.3%減）、豚313億円（対前年比2.0%増）、肉用牛171億円（対前年比3.6%増）、乳用牛95億円（対前年比4.4%増）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛	生乳	肉用牛	豚	鶏	鶏卵	ﾌﾞﾛｲﾗｰ	その他
S55	586	107	80	52	186	220	174	－	24
60	623	105	85	67	194	239	156	－	19
H2	766	103	83	97	255	283	142	－	28
7	649	97	78	72	216	257	131	－	6
12	627	78	71	75	185	282	137	－	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12
27	910	78	69	146	258	412	195	210	16
R2	883	93	83	144	224	411	179	217	13
3	947	88	78	161	221	464	223	227	13
4	979	89	83	171	240	466	234	217	12
5	1,090	91	87	165	307	515	264	233	11
6	1,083	95	90	171	313	493	251	223	10

※　平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：生産農業所得統計

２　主要家畜の頭羽数

（１）飼養戸数、頭羽数（乳用牛・肉用牛：令和7年2月1日現在、豚・鶏：令和6年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

乳用牛				肉用牛				豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種				成鶏めす		
126	11,500	8,650	2,840	651	51,700	31,400	20,300	48	334,800	24	4,902	59	7,639

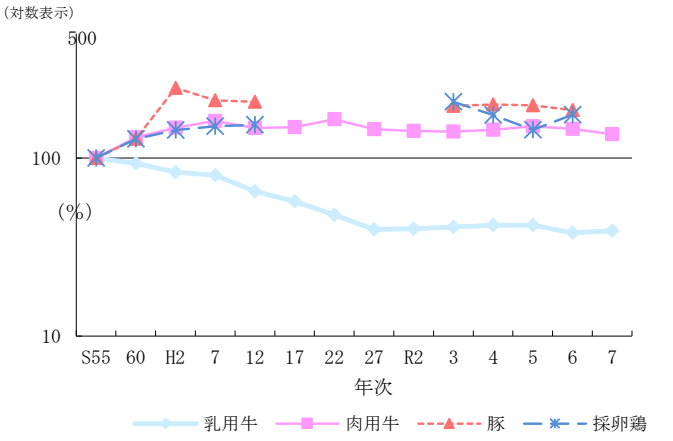
資料：畜産統計

（２）家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較すると、豚（186%）、肉用牛（136%）、採卵鶏（175%）は伸びており、乳用牛（39%）は減少している。

（単位：%）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
S55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
H2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149		
22	48	165		
27	40	145		
R2	40	142		
3	41	141	196	207
4	42	144	200	174
5	42	151	198	144
6	38	146	186	175
7	39	136		



資料：畜産統計・食鳥流通統計

※平成17年、22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため豚及び採卵鶏の調査データなし

第３章　家畜飼養動向



１　乳　用　牛

（１）飼養戸数及び飼養頭数

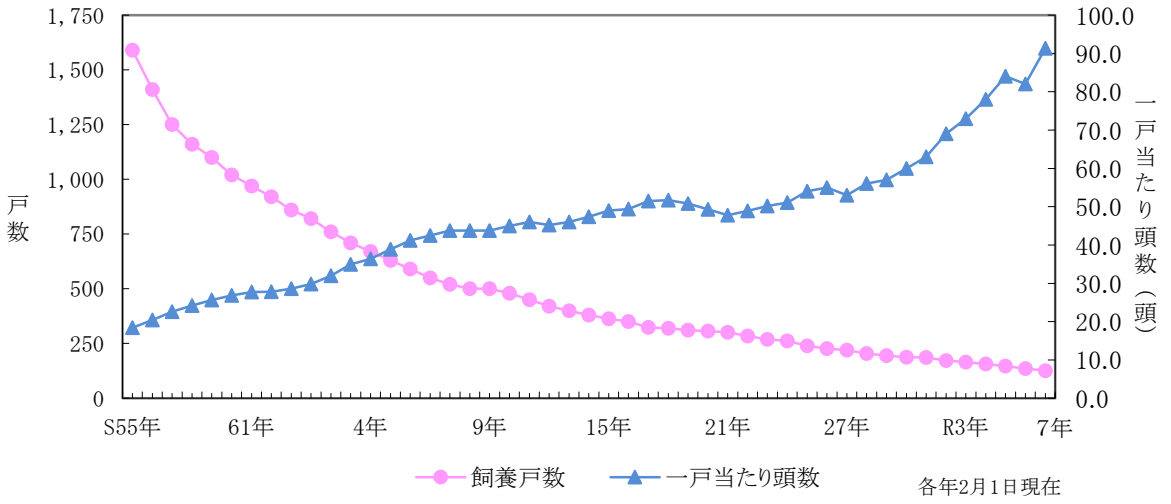
飼養戸数は年々減少し、令和７年は前年より10戸減の126戸となった。
飼養頭数は11,500頭で、前年に比べて400頭増加している。

（単位:戸、頭）

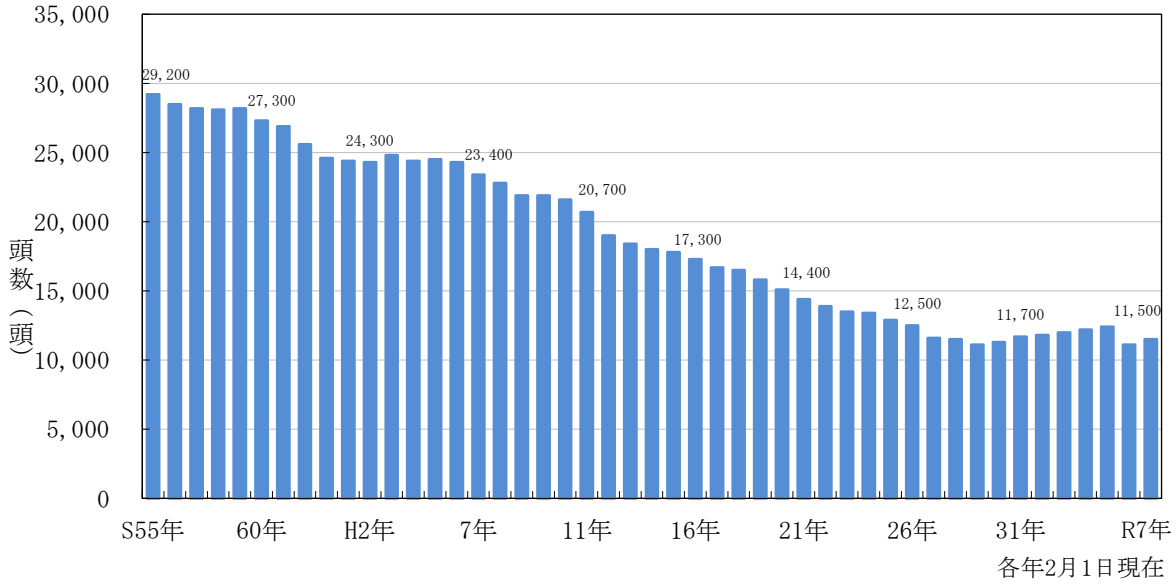
区分		飼養戸数	飼養頭数（めす）							一戸当たり頭数
			合計	２歳以上					２歳未満	
				計	経産牛			未経産牛		
					小計	搾乳牛	乾乳牛			
青森県	S55. 2. 1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18
	60. 2. 1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	27
	H2. 2. 1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32
	7. 2. 1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	43
	12. 2. 1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45
	17. 2. 1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	52
	22. 2. 1	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	49
	27. 2. 1	219	11,600	8,120	7,880	6,930	950	230	3,520	53
31. 2. 1	青森	186	11,700	8,520	8,290	7,210	1,080	240	3,170	63
	全国	15,000	1,332,000	900,500	839,200	729,500	109,700	61,300	431,100	89
R2. 2. 1	青森	172	11,800	9,180	8,540	7,280	1,270	630	2,650	69
	全国	14,400	1,352,000	900,300	838,900	715,400	123,500	61,400	452,000	94
R3. 2. 1	青森	165(20)	12,000(17)	9,300	8,680	7,460	1,220	620	2,670	73(17)
	全国	13,900	1,356,000	910,000	849,300	726,000	123,300	60,700	446,400	98
R4. 2. 1	青森	156(19)	12,200(17)	9,500	8,830	7,570	1,250	670	2,680	78(17)
	全国	13,300	1,371,000	924,000	861,700	736,500	125,200	62,300	447,200	103
R5. 2. 1	青森	147(19)	12,400(16)	9,410	8,830	7,580	1,250	570	3,030	84(13)
	全国	12,600	1,356,000	896,400	836,600	714,500	122,100	59,800	459,300	108
R6. 2. 1	青森	136(18)	11,100(17)	8,540	7,950	6,810	1,140	590	2,610	82(20)
	全国	11,900	1,313,000	889,600	826,200	704,800	121,400	63,400	423,000	110
R7. 2. 1	青森	126(18)	11,500(16)	8,650	8,020	6,770	1,240	640	2,840	91(11)
	全国	11,300	1,293,000	881,400	820,110	696,700	123,400	61,200	411,600	114

※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。　　資料：畜産統計

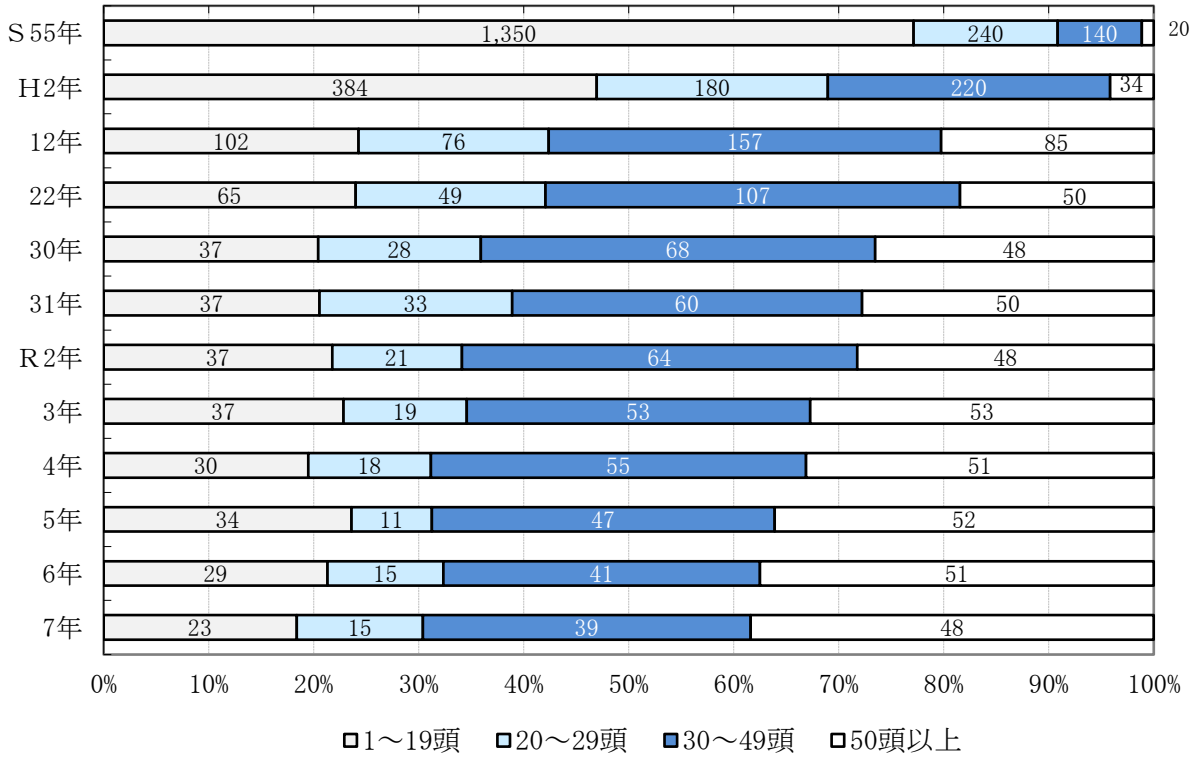
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



②飼養頭数の推移

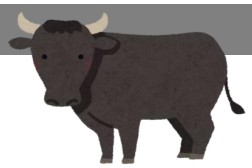


（２）頭数規模別飼養戸数とその割合（成畜）



資料：畜産統計

2　肉　用　牛



（1）飼養戸数及び飼養頭数

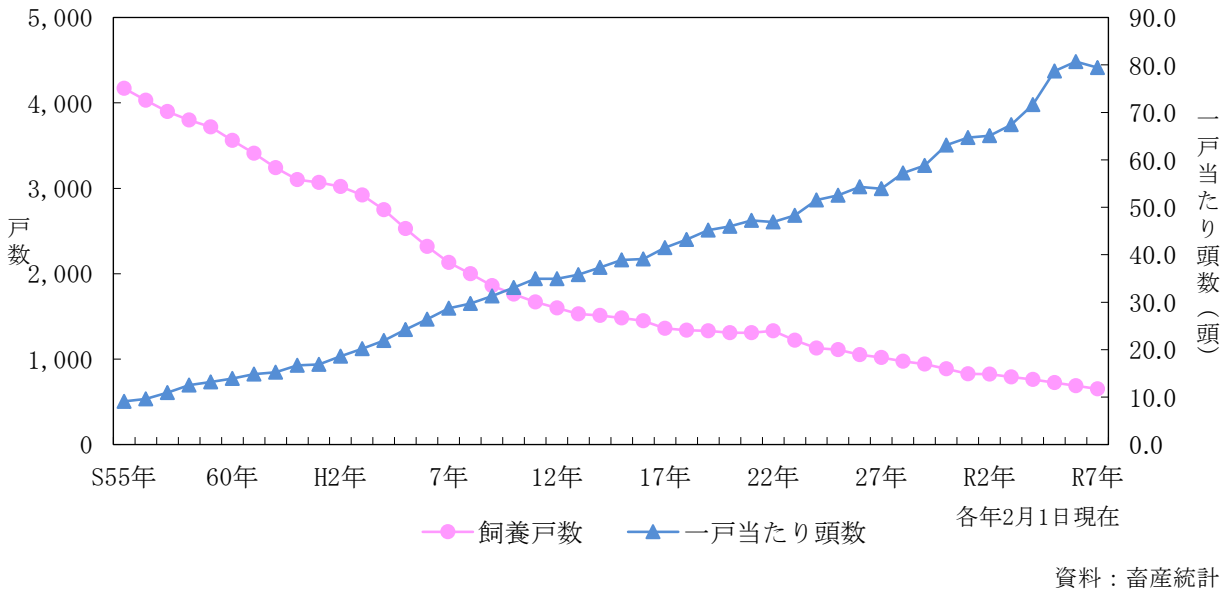
令和７年の飼養戸数は前年より37戸減少し、651戸となった。飼養頭数は51,700頭で、前年に比べて6.8%減となり、肉用種繁殖めすは、前年に比べ5.9%減の12,700頭となった。

（単位:戸、頭）

区分		飼養戸数	飼養頭数 計	飼養頭数 肉用種めす	飼養頭数 肉用種めす うち繁殖めす	飼養頭数 肉用種おす	飼養頭数 乳用種	一戸当たり頭数
青森県	S55. 2. 1	4,170	37,910	4,930		8,740	10,430	9
	60. 2. 1	3,560	49,400	5,800		9,460	19,500	14
	H 2. 2. 1	3,020	56,200	17,600		8,520	30,100	19
	7. 2. 1	2,130	61,200	17,800		13,700	29,600	29
	12. 2. 1	1,600	55,800	16,700	10,900	9,700	29,400	35
	17. 2. 1	1,360	56,500	16,200	10,400	9,110	31,200	42
	22. 2. 1	1,330	62,400	19,500	14,200	9,250	33,600	47
	27. 2. 1	1,020	55,000	17,300	12,000	7,320	30,500	54
R2. 2. 1	青森	824	53,700	19,300	12,900	9,620	24,700	65
	全国	43,900	2,555,000	1,138,000	622,000	654,200	763,400	58
R3. 2. 1	青森	792(14)	53,400(12)	19,500	13,200	10,400	23,500	67(24)
	全国	42,100	2,604,000	1,162,000	632,800	667,200	775,200	62
R4. 2. 1	青森	763(13)	54,600(12)	20,000	13,600	10,900	23,800	72(25)
	全国	40,400	2,614,000	1,158,000	636,800	653,600	802,200	65
R5. 2. 1	青森	726(13)	57,100(12)	20,500	13,800	11,600	25,100	79(24)
	全国	38,600	2,687,000	1,195,000	577,500	686,800	804,400	70
R6. 2. 1	青森	688(13)	55,500(12)	21,000	13,500	11,900	22,600	81(25)
	全国	36,500	2,672,000	1,201,000	640,400	696,700	774,900	73
R7. 2. 1	青森	651(13)	51,700(12)	19,900	12,700	11,600	20,300	79(25)
	全国	34,000	2,595,000	1,168,000	611,400	683,400	743,800	76

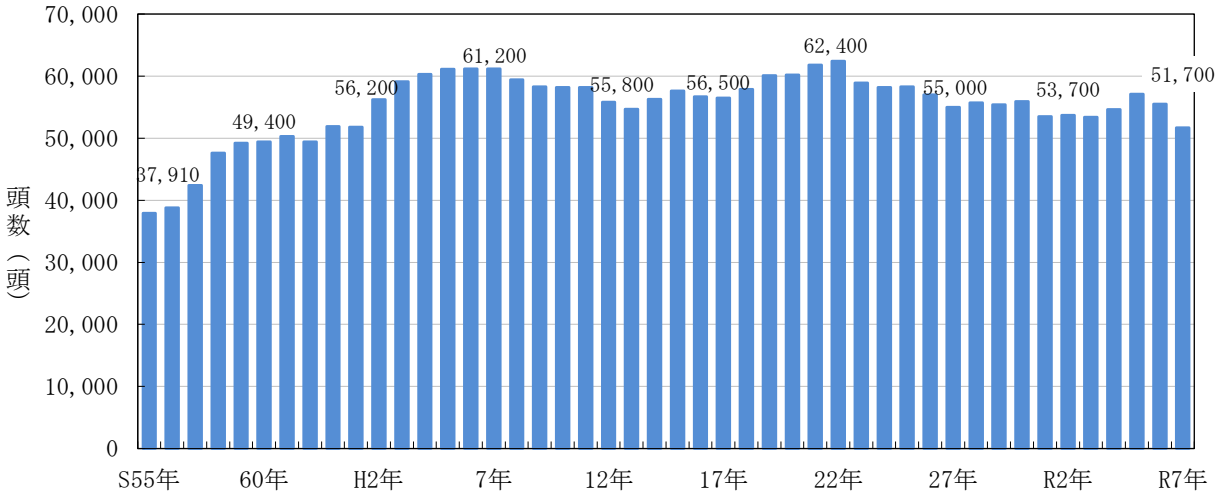
※（）は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。　　資料：畜産統計

①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



資料：畜産統計

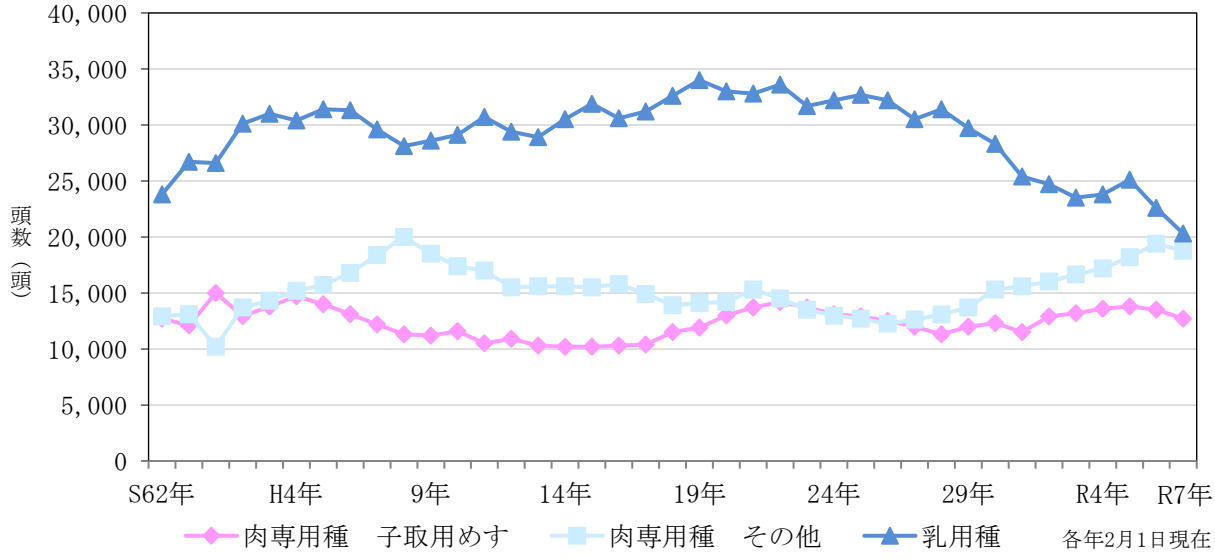
②飼養頭数の推移



各年2月1日現在

資料：畜産統計

③品種別飼養頭数の推移

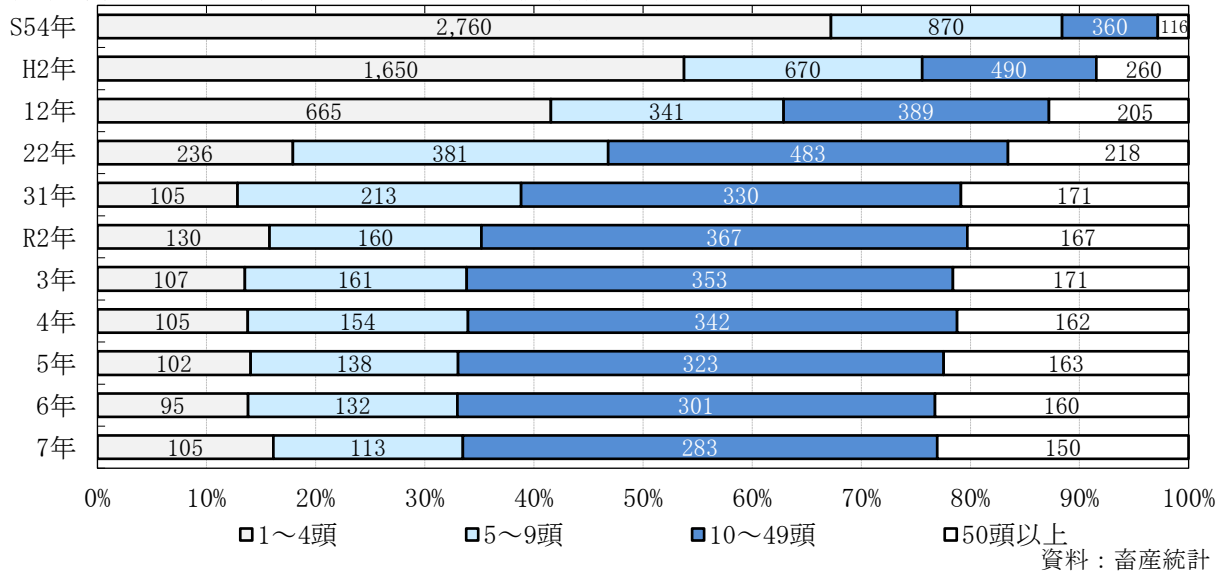


各年2月1日現在

（※　平成2年次、7年次はセンサス年で一部調査を中止しているため、前後年の中間値を用いた）

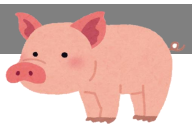
資料：畜産統計

（２）頭数規模別飼養戸数とその割合（成畜）



資料：畜産統計

3　豚



（1）飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は減少が続いており、令和６年は前年より４戸減少し48戸となった。飼養頭数は、前年に比べほぼ横ばいの334,800頭となった。

また、一戸当たりの飼養頭数は年々増加傾向で推移し6,975頭で、全国２位となっている。

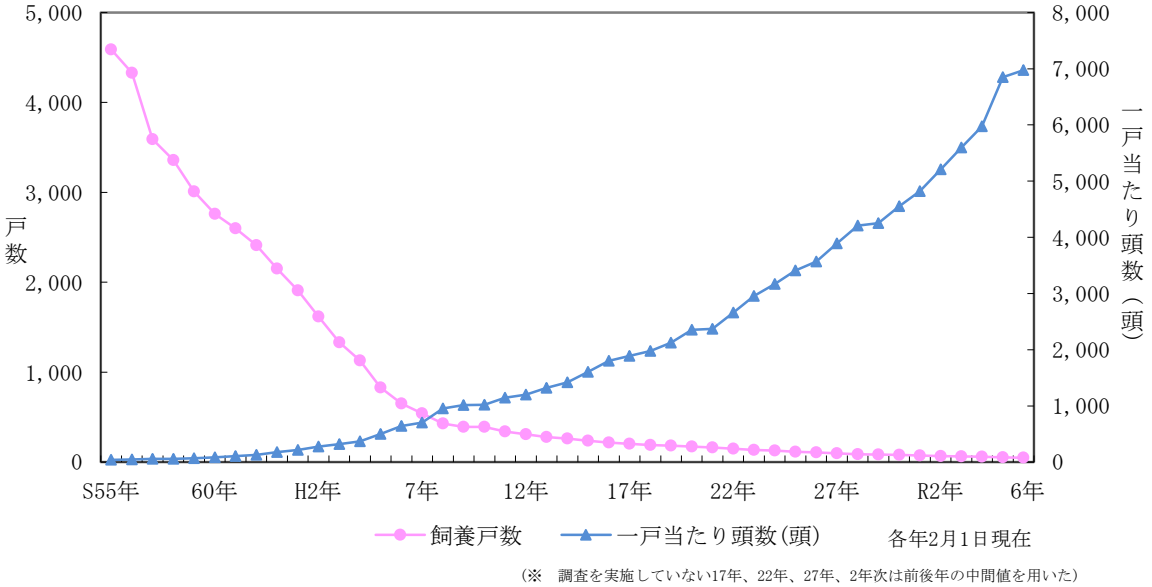
（単位:戸、頭）

区分		飼養戸数	子取り用めす豚	飼養頭数	子取り用めす豚	一戸当たり頭数
青森県	S55. 2. 1	4,590	3,610	179,610	23,760	39
	60. 2. 1	2,760	2,540	229,600	29,800	83
	H 2. 2. 1	1,620	1,240	445,100	43,500	275
	7. 2. 1	540	480	378,700	39,600	701
	12. 2. 1	310	290	372,000	36,200	1,200
	16. 2. 1	216	190	389,300	35,600	1,802
	21. 2. 1	163	142	386,600	34,000	2,372
30. 2. 1	青森	79	55	359,500	31,500	4,551
	全国	4,470	3,640	9,189,000	823,700	2,056
31. 2. 1	青森	73	54	351,800	32,900	4,819
	全国	4,320	3,460	9,156,000	853,100	2,119
R3. 2. 1	青森	63(20)	46	352,700(9)	29,100	5,598(3)
	全国	3,850	3,040	9,290,000	823,200	2,413
R4. 2. 1	青森	60(20)	41	358,600(8)	28,500	5,977(2)
	全国	3,590	2,750	8,949,000	789,100	2,493
R5. 2. 1	青森	52(20)	37	356,300(8)	29,500	6,852(2)
	全国	3,370	2,640	8,956,000	791,800	2,658
R6. 2. 1	青森	48(21)	34	334,800(9)	23,400	6,975(2)
	全国	3,130	2,390	8,798,000	758,300	2,811

資料：畜産統計

※平成17年、22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため調査を中止している。
※（）は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

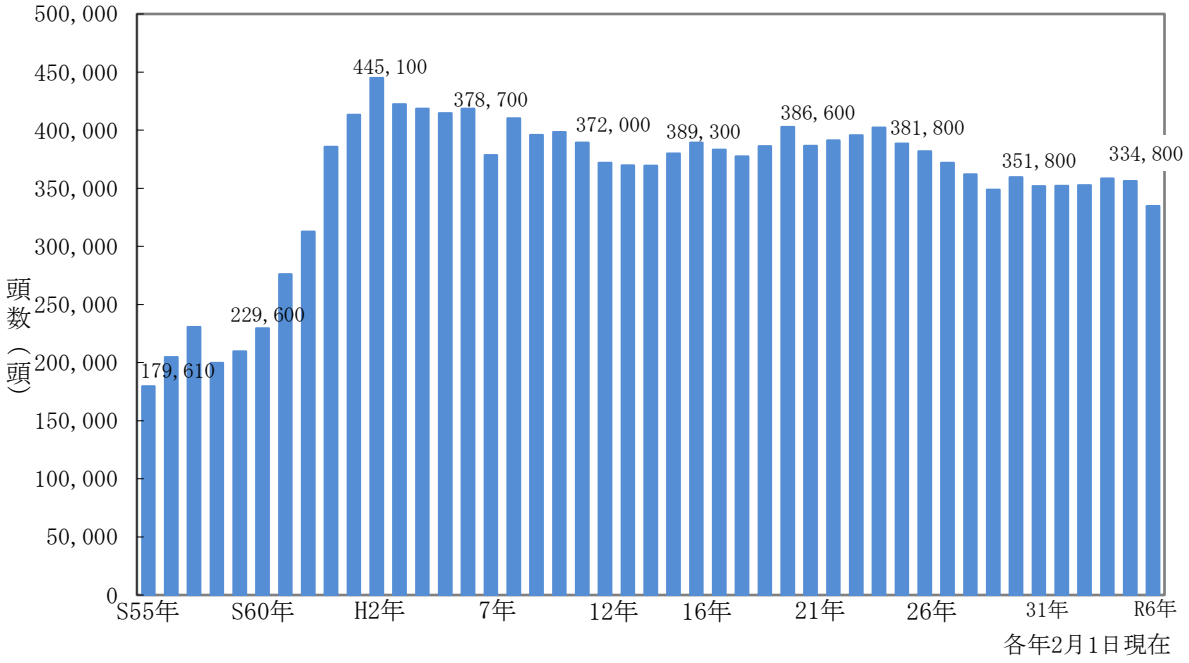
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



（※　調査を実施していない17年、22年、27年、2年次は前後年の中間値を用いた）

資料：畜産統計

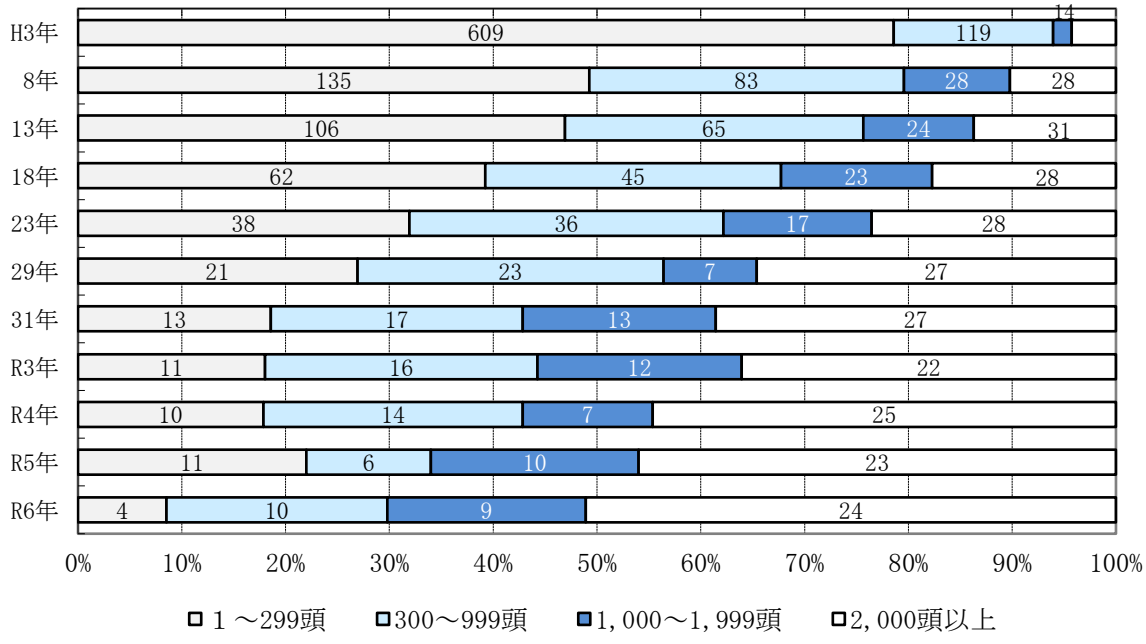
②飼養頭数の推移



（※調査を実施していない17年、22年、27年、2年次は前後年次の中間値を用いた）

資料：畜産統計

（２） 頭数規模別飼養戸数とその割合（肥育豚）



資料：畜産統計

4　採　卵　鶏



（１）飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年横ばいで推移しており、令和６年は１戸増加し24戸であった。飼養羽数は、前年に比べて21.3%増の6,540千羽となった。また、一戸当たりの飼養羽数は、全国平均の約2.6倍にあたる204千羽で全国１位の規模となっている。

（単位:戸、千羽）

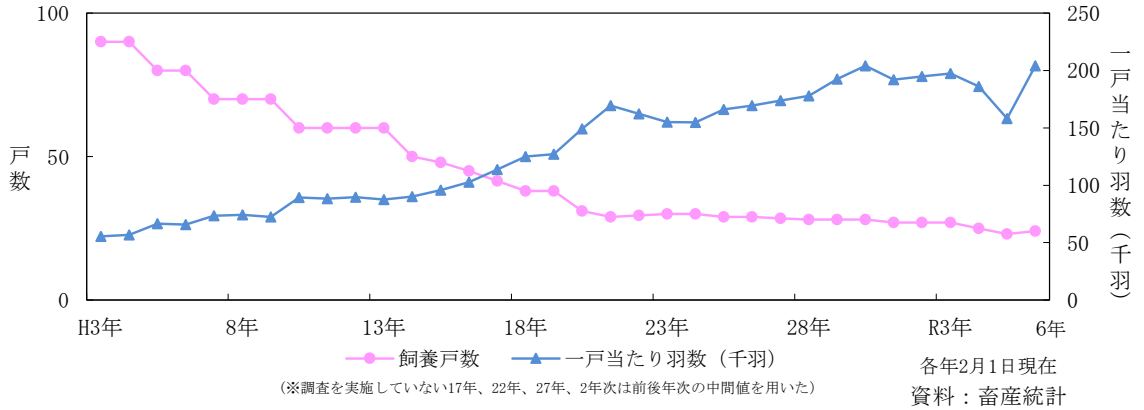
区　分		飼養戸数	飼養羽数（採卵鶏）			一戸あたり成鶏めす羽数
			計	成鶏めす	ひな	
R4.2.1	青森	25(27)	6,497(9)	4,650	1,847	186(1)
	全国	1,880	180,096	137,291	42,805	76
R5.2.1	青森	23(29)	5,393(15)	3,635	1,758	158(2)
	全国	1,760	169,810	128,579	41,231	76
R6.2.1	青森	24(27)	6,540(8)	4,902	1,638	204(1)
	全国	1,700	170,776	129,729	38,870	79

※平成17年、22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため調査を中止している。　資料：畜産統計

※飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成３年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

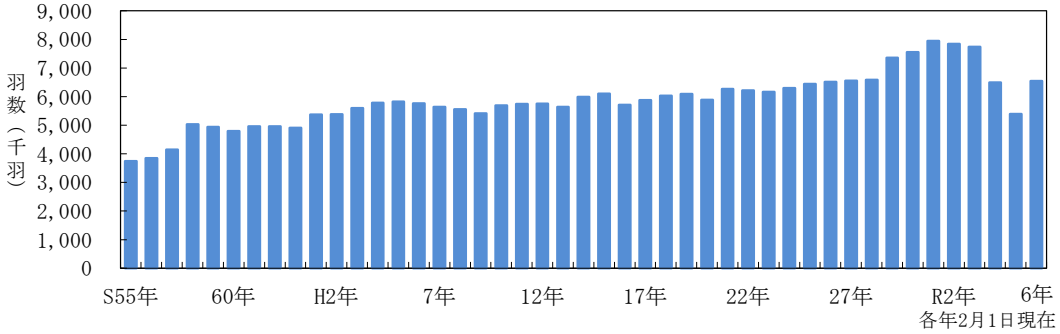
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養羽数の推移



（※調査を実施していない17年、22年、27年、2年次は前後年次の中間値を用いた）

各年2月1日現在
資料：畜産統計

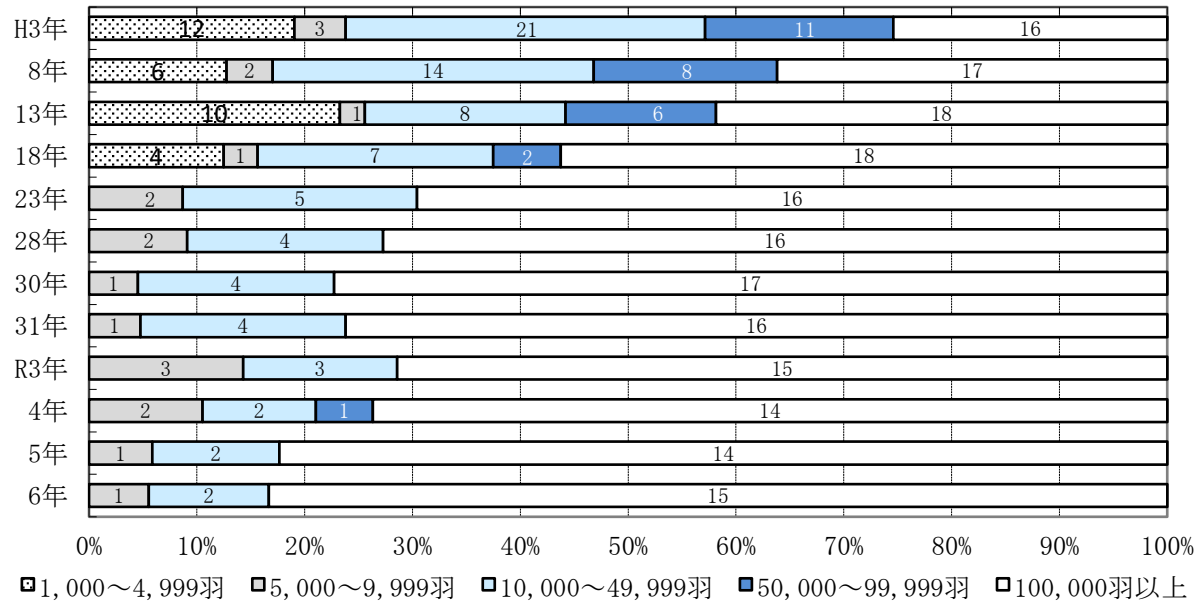
②飼養羽数の推移



各年2月1日現在

（※　調査を実施していない17年、22年、27年、2年次は前後年次の中間値を用いた）

（２）羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



※令和４年から1,000～4,999羽と5,000～9,999羽が1,000～9,999羽に一本化された。

資料：畜産統計

５　ブロイラー



（１）飼養戸数及び飼養羽数

令和６年の飼養戸数は59戸、飼養羽数は前年に比べて10.6%増の7,639千羽となった。一戸当たりの飼養羽数は全国平均の約1.8倍にあたる129.5千羽で全国４位の規模となっている。

単位：戸、千羽

区　分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	26年	31年	R5年	6年
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	58	66	64	60 (7)	59 (6)
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	6,105	6,844	6,943	6,905 (4)	7,639 (4)
	一戸当たり羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	105.3	103.7	108.5	115.1 (5)	129.5 (4)
全国	飼養戸数	―	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,392	2,380	2,250	2,100	2,050
	飼養羽数	―	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	107,141	135,747	138,228	141,463	144,859
	一戸当たり羽数	―	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	44.8	57.0	61.4	67.4	70.7

※平成21年までは、食鳥流通統計として調査。
※平成25年からは、畜産統計として調査。年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く。
※（）は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。
※平成22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

６　そ　の　他



（１）馬

①軽種馬

（単位:戸、頭）

区　分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	53	46	36	30	32	28
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	438	300	290	251	236	270

各年2月1日現在

資料：県畜産課調査

②軽種馬以外

（単位:戸、頭）

区　分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	136	118	116	99	86	82
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,436	1,540	1,845	1,446	1,280	1,310

各年2月1日現在

資料：県畜産課調査



（２）めん羊

※平成24年から調査方法が変更となっている

（単位：頭）

区　分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	65	150	177	321	244	370

各年2月1日現在

資料：県畜産課調査（H６年以前は畜産統計）



（３）山羊

（単位：頭）

区　分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	89	140	106	77	98	120

各年2月1日現在

資料：県畜産課調査（H６年以前は畜産統計）



（４）蜜蜂

（単位:戸、群）

区　分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼育戸数	169	160	118	96	92	75	76	103	123	117	117	110
飼育群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	5,677	5,960	6,057	4,396	2,298	2,295

各年1月1日現在

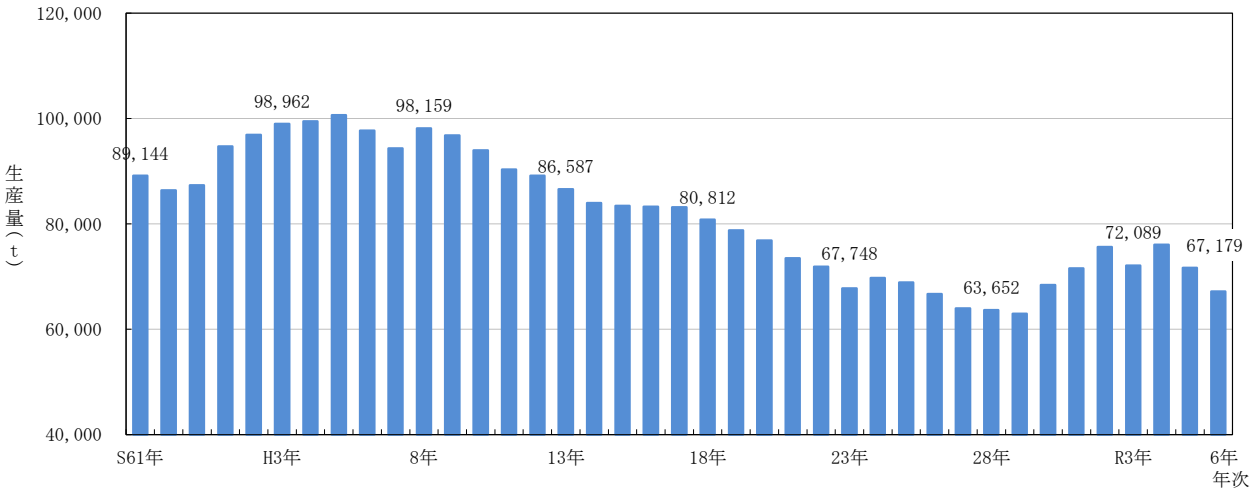
資料：県畜産課調査

第４章　畜産物の流通と価格

１　牛　　乳

（１）生乳生産量

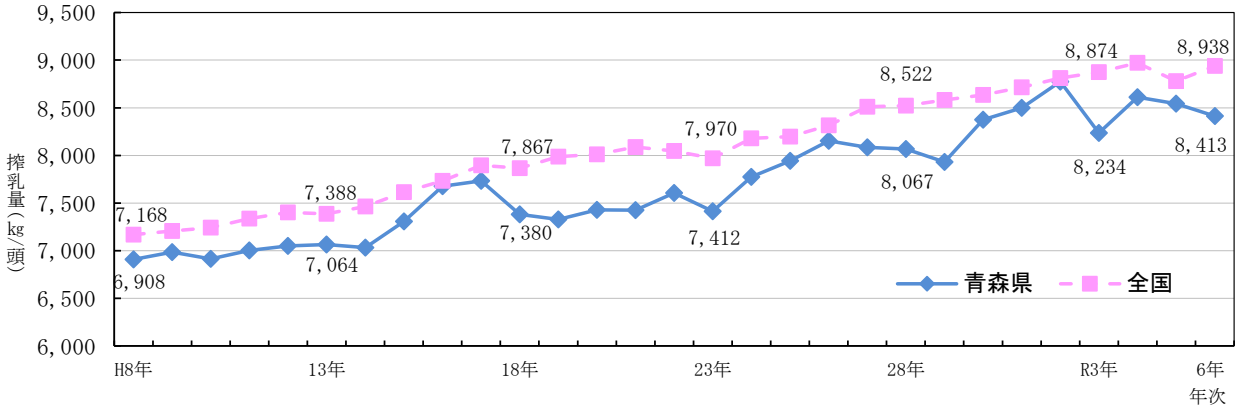
令和６年の生乳生産量は67,179tで、前年に比べて4,485t（6.3%）減少している。



資料：牛乳乳製品統計

（２）経産牛１頭当たり年間搾乳量

令和６年の経産牛１頭当たりの年間搾乳量は、8,413kg/頭となっている。



資料：「牛乳乳製品統計調査」及び「畜産統計」の結果から算出

（３）生乳の価格

令和５年度のプール乳価は122.49円/kgで、前年度より約12.62円高くなっている。

（単位:円／kg）

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R2年度	3年度	4年度	5年度
プール乳価（補給金含む）	96.73	96.41	97.89	100.65	103.85	104.15	104.67	104.84	108.37	107.36	109.87	122.49

資料：東北生乳販売農業協同組合連合会事業概況

（４）生乳の流通経路（令和６年次）



県外処理
54,107　t
(80.5%)

（単位：ｔ、％）

内訳	数量	割合
宮城県	22,845	42.2
茨城県	14,975	27.7
岩手県	9,908	18.3
その他	6,379	11.8
計	54,107	

資料：牛乳乳製品統計

生乳生産量
67,179　t



県内処理
13,072　t
(19.5%)

生乳処理量
13,072　t

飲用牛乳等向け	乳製品向け	その他向け
12,827t (98.1%)	21t (0.2%)	224t (1.7%)

※その他向け：自家消費、子牛ほ乳用、輸送・製造行程の減耗等を含む。

生産量		
飲用牛乳等		はっ酵乳
牛乳		
12,216kl	うち学乳向け 2,416kl	504

資料：牛乳乳製品統計
※平成28年から令和5年までは牛乳乳製品統計の公表方法が変更となり、県内処理の内訳が非表示となったため、県内乳業工場からの報告データを使用





牛　　乳
12,216kl
(60.2%)

飲用牛乳等出荷量
131　kl
(0.6%)

飲用牛乳等入荷量
8,191　kl
(40.4%)

飲用牛乳等
県内推定出回り量
20,276kl

（単位：kl、％）

内訳	数量	割合
北海道	2,532	30.9
岩手県	4,580	55.9
秋田県	938	11.5
その他	141	1.7
計	8,191	

資料：牛乳乳製品統計

2　肉　用　牛

（1）子牛の取引頭数

令和６年の本県の子牛取引頭数は、前年より3.5%減の9,935頭となっている。

（単位：頭）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	4年	5年	6年
初生子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,268	6,059	6,637	7,412	7,476
	F1・乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	6,965	5,468	3,456	2,882	2,459
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,233	11,527	10,093	10,294	9,935

資料：全国肉用牛振興基金協会調査

（2）子牛の価格

令和６年の県内市場における子牛価格は、黒毛和種は527千円（対前年比4.2%減）、日本短角種は195千円（対前年比13.4%増）となっている。

（単位：千円(税込)）

区分		S55年		60年		H2年		7年	12年	17年	22年	27年	4年	5年	6年
		春	秋	春	秋	春	秋	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月
品種別	黒毛和種	285	305	157	206	355	318	279	355	470	387	639	655	550	527
	日本短角種	272	277	177	205	273	187	127	107	209	164	314	240	172	195
子牛平均価格		267	284	161	205	330	260	241	337	462	385	635	655	550	526

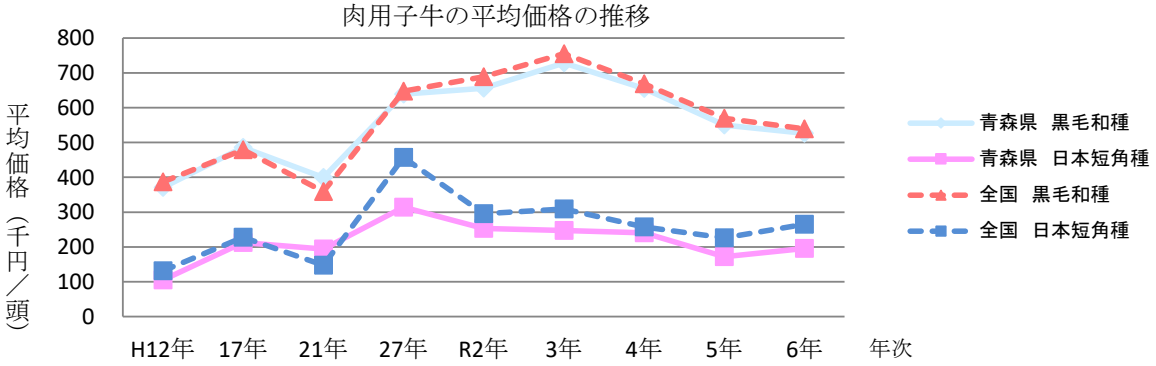
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

（3）肉用子牛取引状況

（単位：頭、kg、円、円/kg(税込)）

区分		青森県				全国			
		取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成27年	4,995	293	638,559	2,176	326,300	278	647,489	2,332
	令和2年	6,163	313	656,130	2,093	342,798	295	688,976	2,332
	令和3年	6,328	314	728,212	2,318	348,530	295	755,156	2,561
	令和4年	6,412	317	654,755	2,067	360,813	296	668,528	2,259
	令和5年	6,783	317	550,210	1,736	366,887	297	569,134	1,918
	令和6年	6,686	318	526,746	1,655	363,243	299	538,854	1,801
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成27年	58	248	314,019	1,267	963	239	456,982	1,915
	令和2年	26	280	253,000	904	793	242	295,502	1,219
	令和3年	11	277	246,900	893	723	241	308,806	1,282
	令和4年	2	323	240,350	745	728	243	257,191	1,060
	令和5年	2	254	172,150	679	688	237	226,016	954
	令和6年	21	309	195,433	632	607	239	265,191	1,109

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

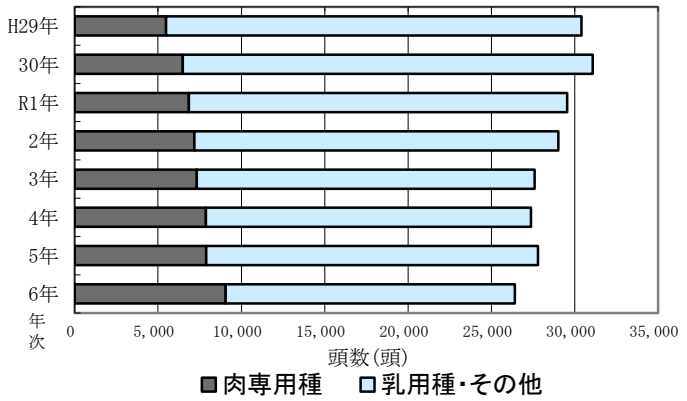


（３）肉用牛（成牛）の出荷頭数

令和６年の出荷頭数は、前年の1.5%増の27,792頭で、種類別内訳は、乳用種及びその他72%、肉専用種28%となっている。

（単位：頭）

	肉専用種	乳用種・その他	合計
H29年	5,481	24,919	29,352
30年	6,481	24,605	30,400
R1年	6,847	22,705	29,552
2年	7,175	21,834	29,009
3年	7,335	20,262	27,597
4年	7,873	19,510	27,383
5年	7,894	19,898	27,792
6年	9,057	17,345	26,402



資料：畜産物流通統計

（４）肉用牛の流通（令和６年次）



総出荷頭数
26,402頭

県外処理
10,794頭
(40.9%)

（単位：頭、%）

内訳	頭数	割合
茨城県	3,379	31.3
東京都	3,068	28.4
岩手県	1,386	12.8
その他	2,961	27.4
計	10,794	

県内処理
15,608頭
(59.1%)

(57.3%)

県内と畜頭数
27,257頭

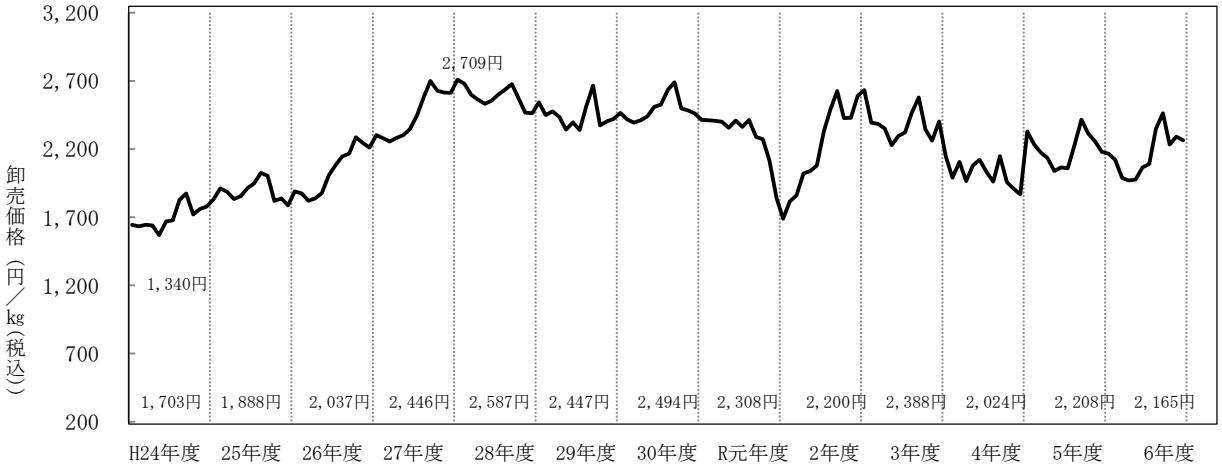
県外からの
生体移入
11,649頭
(42.7%)

（単位：頭、%）

内訳	頭数	割合
北海道	5,763	49.5
岩手県	3,653	31.4
宮城県	1,051	9.0
秋田県	656	5.6
その他	526	4.5
計	11,649	

資料：畜産物流通統計

（５）牛枝肉の卸売価格の推移（東京市場「和牛去勢Ａ４」）

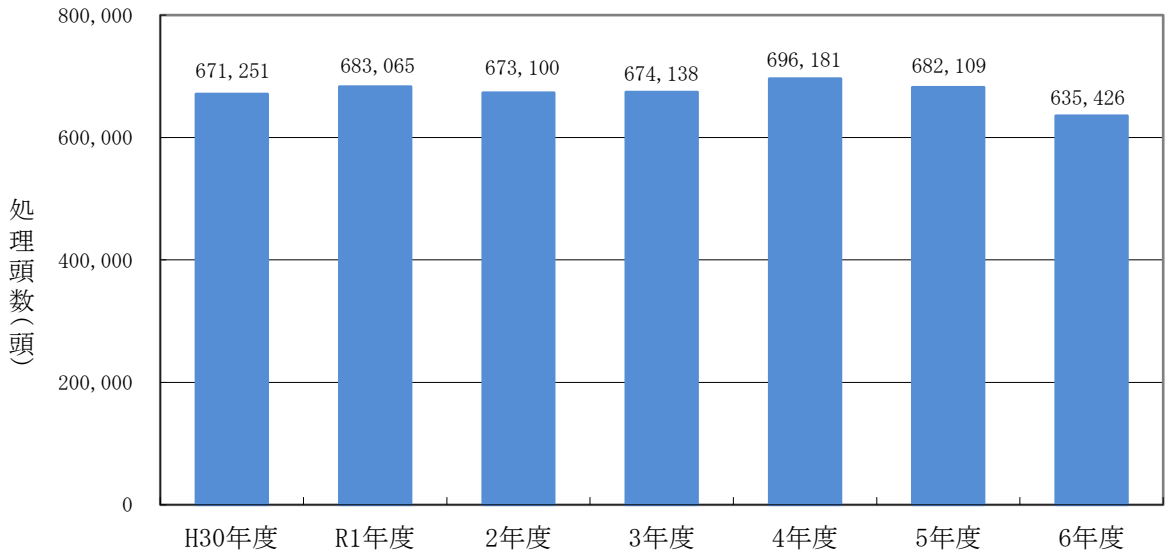


資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

3　豚

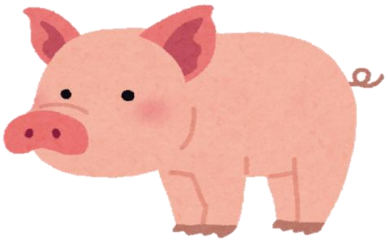
（1）肉豚の県内処理頭数

令和６年度の肉豚の県内処理頭数は、前年に比べて6.8%減の635,426頭となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

（2）肉豚の流通（令和６年度）





県内処理
635,426頭
(62.4%)

県内と畜頭数
1,017,927頭

県外からの
生体移入
382,501頭
(37.6%)

（単位：頭、%）

内訳	頭数	割　合
岩手県	261,244	68.3
秋田県	103,493	27.1
北海道	10,851	2.8
宮城県	6,913	1.8
計	382,501	

資料：県食肉衛生検査所調査

（３）子豚の価格

（単位：円／頭）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R3	R4	R5
価格	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	15,974	19,864	15,497	17,262	10,778

※令和6年以降は県内市場における取引なし

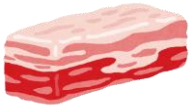
資料：県畜産課調査

（４）豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

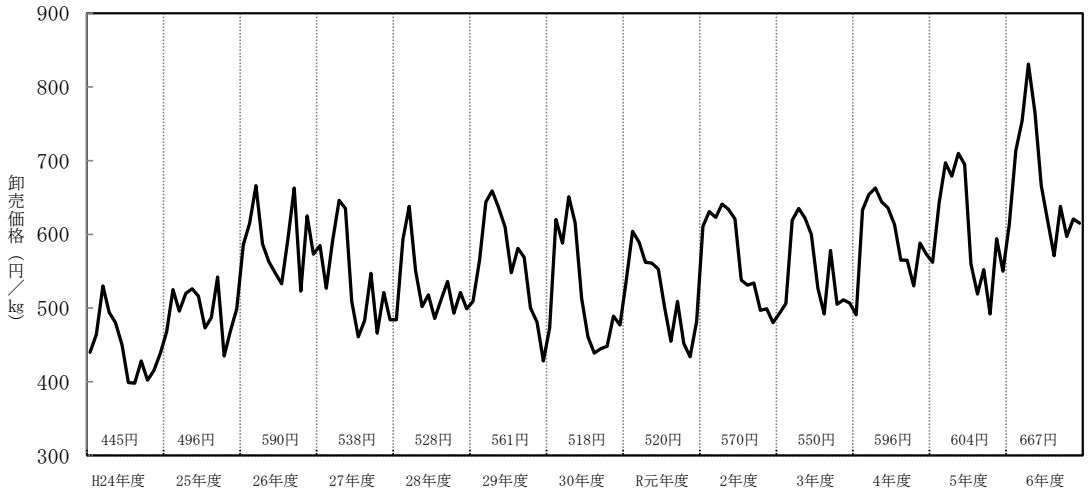
（単位：円／kg）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R4	R5	R6
価格	628	601	486	458	436	480	462	557	588	607	612

資料：畜産物流通統計



＜参考＞豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場「上」）



資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

4　鶏　　卵

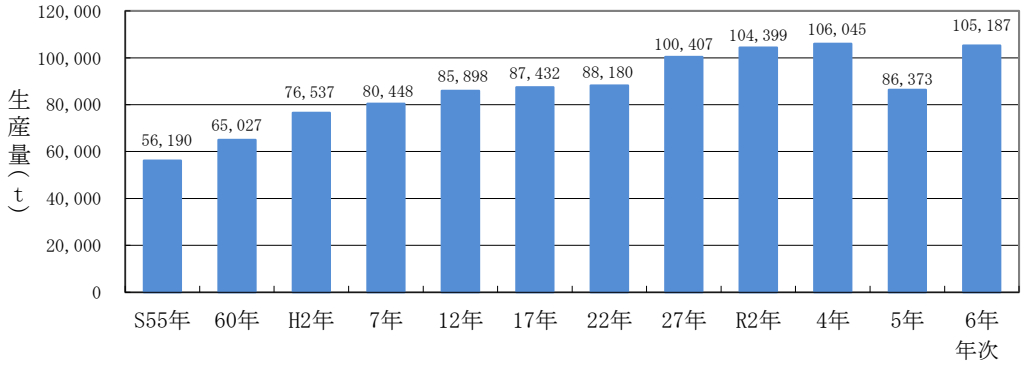
（１）鶏卵の生産量及び出荷量

令和６年の本県鶏卵の生産量は、前年に比べて21.8%増の105,187tとなっている。

（単位：ｔ）

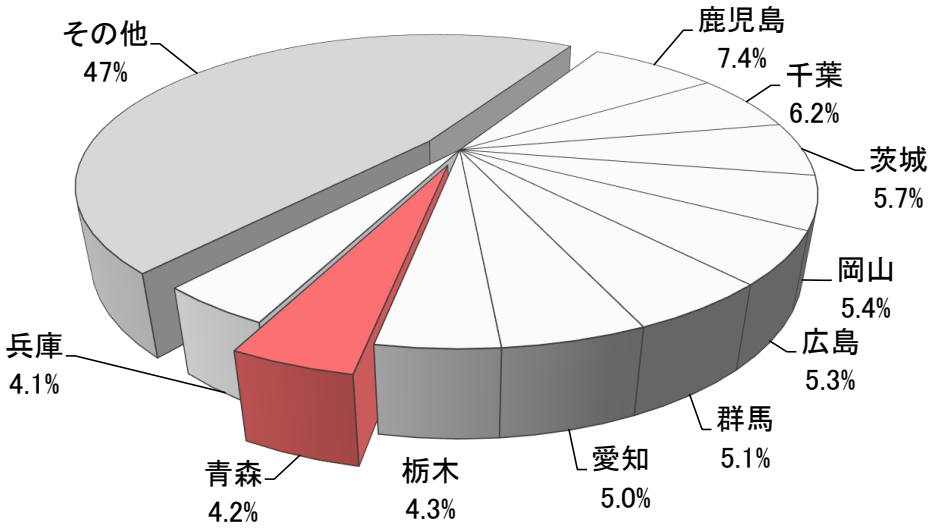
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	4年	5年	6年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	88,180	100,407	104,399	106,045	86,373	105,187
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	86,538					

※出荷量は平成27年以降データなし



資料：畜産物流通統計

（２）鶏卵の都道府県別生産量（令和６年次）



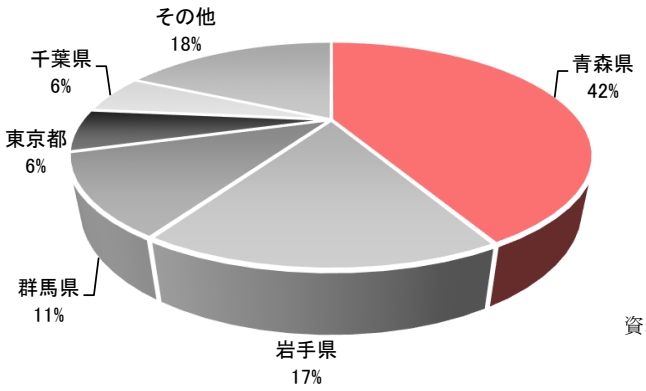
内訳	鹿児島	千葉	茨城	岡山	広島	群馬	愛知	栃木	**青森**	**兵庫**	その他	合計
生産量	184,584	154,400	142,464	134,561	130,829	127,180	125,255	105,490	105,187	102,024	1,168,689	2,480,663
割合	7.4%	6.2%	5.7%	5.4%	5.3%	5.1%	5.0%	4.3%	4.2%	4.1%	47.1%	

※青森県は全国9位　割合4.2%

資料：畜産物流通統計

（３）東京都中央卸売市場入荷量に占める県産鶏卵の割合（令和６年次）

本県産鶏卵の東京都中央卸売市場への入荷量は、全国第１位の3,949tで、全入荷量の42%を占めている。



（単位：ｔ）

内訳	入荷量	割合
青森県	3,949	42%
岩手県	1,585	17%
群馬県	1,071	11%
茨城県	578	6%
千葉県	536	6%
その他	1,667	18%
計	9,386	

資料：東京都中央卸売市場統計情報



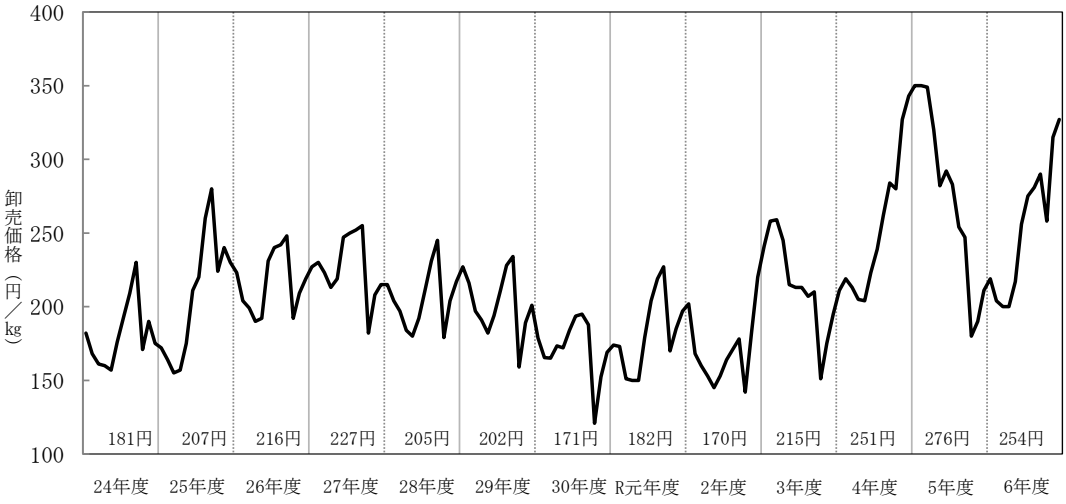
（４）鶏卵の卸売価格（東京市場、規格「M」）

（単位：円／kg）

区分	S55年度	60年度	H2年度	7年度	12年度	17年度	21年度	26年度	R2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
卸売価格	300	279	241	197	185	167	175	216	170	215	251	276	254

資料：JA全農たまご（株）「たまご相場」
（昭和60年までは畜産物流通統計）

＜参考＞鶏卵卸売価格の推移（東京市場、規格「M」）



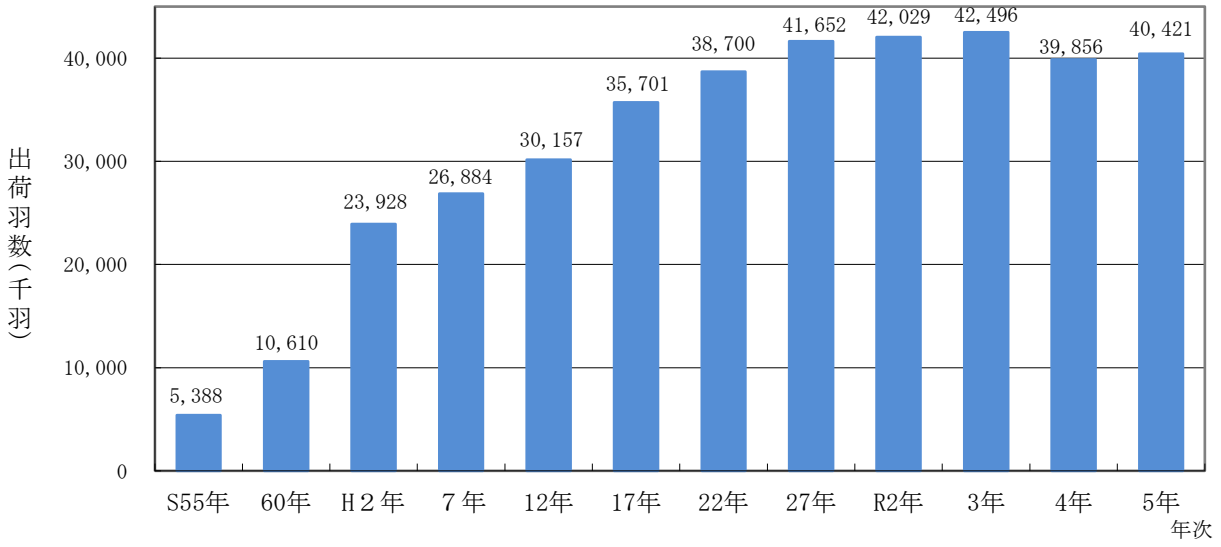
資料：全農畜産販売部情報

５　ブロイラー



（１）ブロイラー出荷羽数

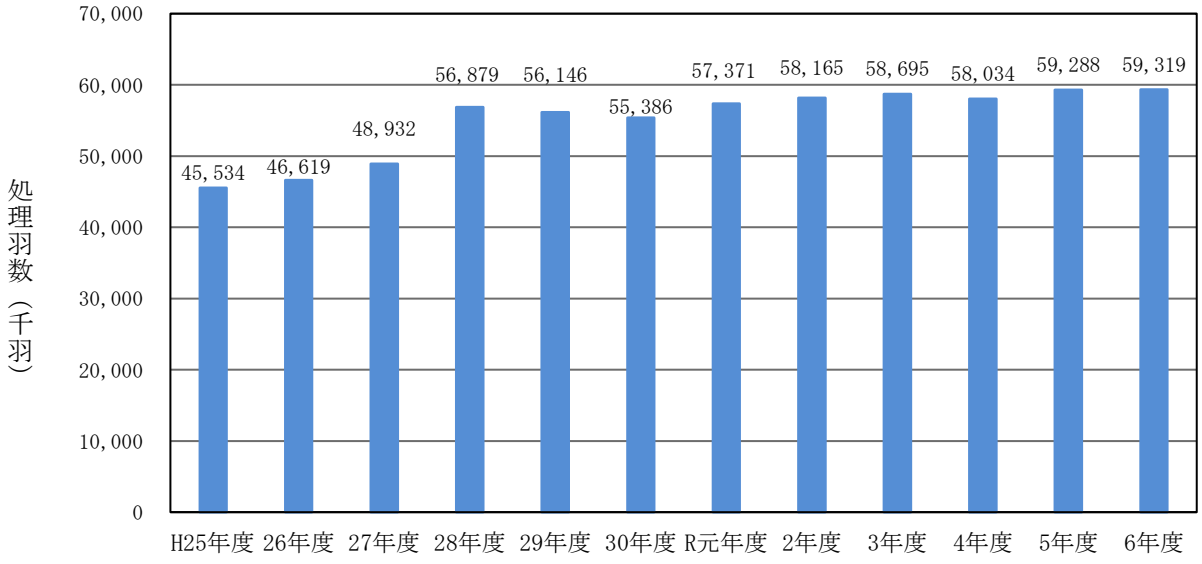
令和５年の出荷羽数は、前年に比べて1.4%増の40,421千羽となっている。



資料：畜産統計

（２）ブロイラー処理量

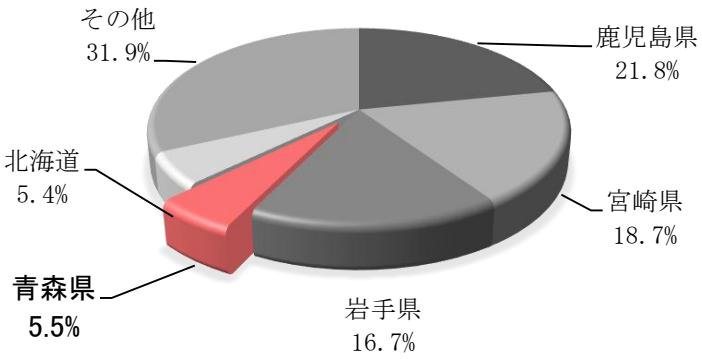
令和６年度の県内処理羽数は、前年に比べて同程度の59,319千羽となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

（３）ブロイラーの都道府県別出荷羽数（令和５年次）

本県産ブロイラーの出荷羽数は、全国４位の40,421千羽で全体の5.5%を占めている。

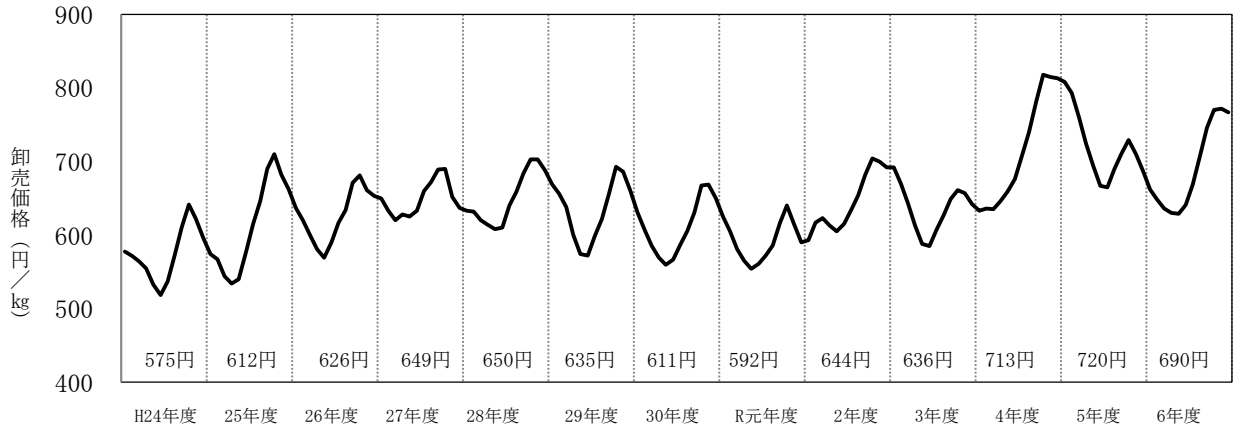


（単位：千羽）

内訳	出荷羽数	割合
鹿児島県	159,696	21.8%
宮崎県	136,921	18.7%
岩手県	122,334	16.7%
青森県	40,421	5.5%
北海道	39,181	5.4%
その他	233,376	31.9%
計	731,929	

資料：畜産統計

（４）鶏肉の卸売価格の推移（東京市場、もも肉）



資料：食鳥市況情報、ブロイラー卸売価格

６　畜産物支出金額、購入数量

１人当たり支出金額、購入数量　（令和６年次）

（単位：円、g、本）

区分		消費支出	食料費	牛乳※	卵	牛肉	豚肉	鶏肉	生鮮魚介
青森市	支出金額	1,118,230	360,198	5,742	3,836	5,309	11,168	6,197	16,764
世帯人数 2.80人	購入数量	—	—	127	12,451	1,514	7,883	6,213	8,757
全　国	支出金額	1,251,012	374,732	5,524	4,142	7,403	11,742	6,609	14,092
世帯人数 2.88人	購入数量	—	—	118	10,786	1,920	7,582	6,473	6,293

※牛乳の購入数量は200ｍｌ本換算

資料：家計調査年報

第５章　畜産物の生産費と収益性

１　生　　乳

（１）生乳生産費

令和５年の生乳100kg（乳脂肪分3.5%換算乳量）当たりの費用合計は11,731円となり、流通飼料費（45.3%）と労働費（16.1%）が高い割合を占めている。

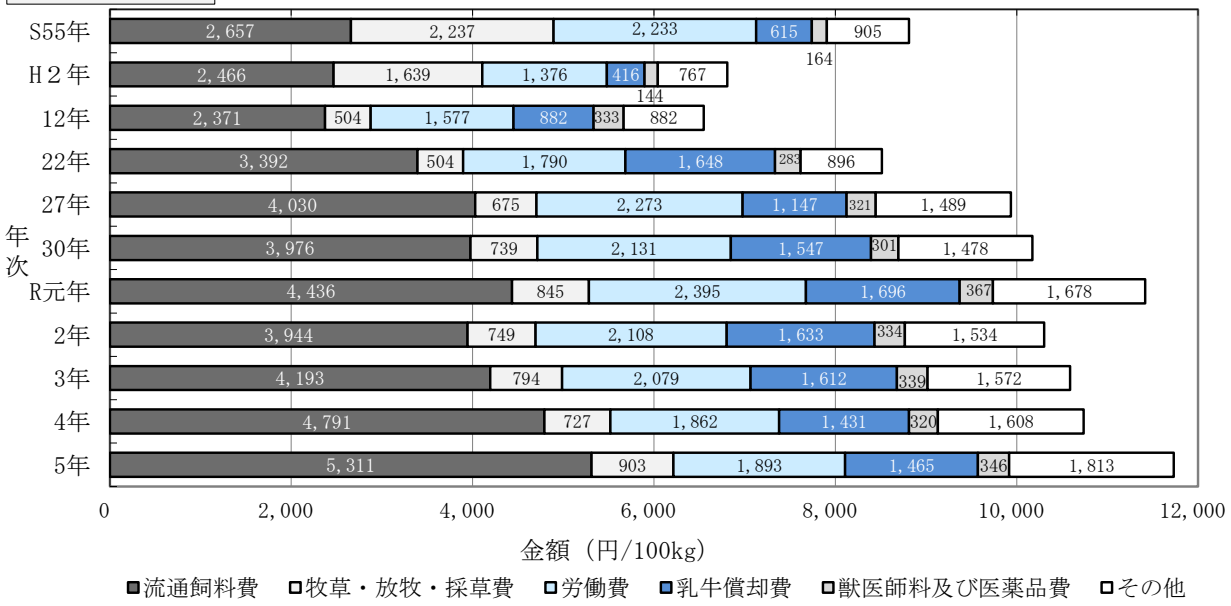
（単位：円/100kg）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	28年	R2年	R3年	R4年	R5年
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	8,490	9,152	8,957	9,311	9,893	11,076
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	8,513	9,935	10,302	10,589	10,739	11,731

※平成12年から調査期間変更。　　資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

費用合計の内訳



○全算入生産費とは

生産費　＝　費用合計－副産物価格
全算入生産費　＝　生産費＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代

（２）生乳生産における収益性

令和５年の搾乳牛１頭当たり（通年換算）の所得は、前年に比べて14.6%減の124,273円となっている。

（単位：円）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	28年	2年	3年	4年	5年
収益性	所得（搾乳牛１頭）	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	164,052	255,459	271,034	246,612	145,521	124,273
	家族労働報酬（１日）	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	10,180	14,192	16,614	14,957	9,250	8,238

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。　　資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

2　肉　用　牛

（1）子牛生産費

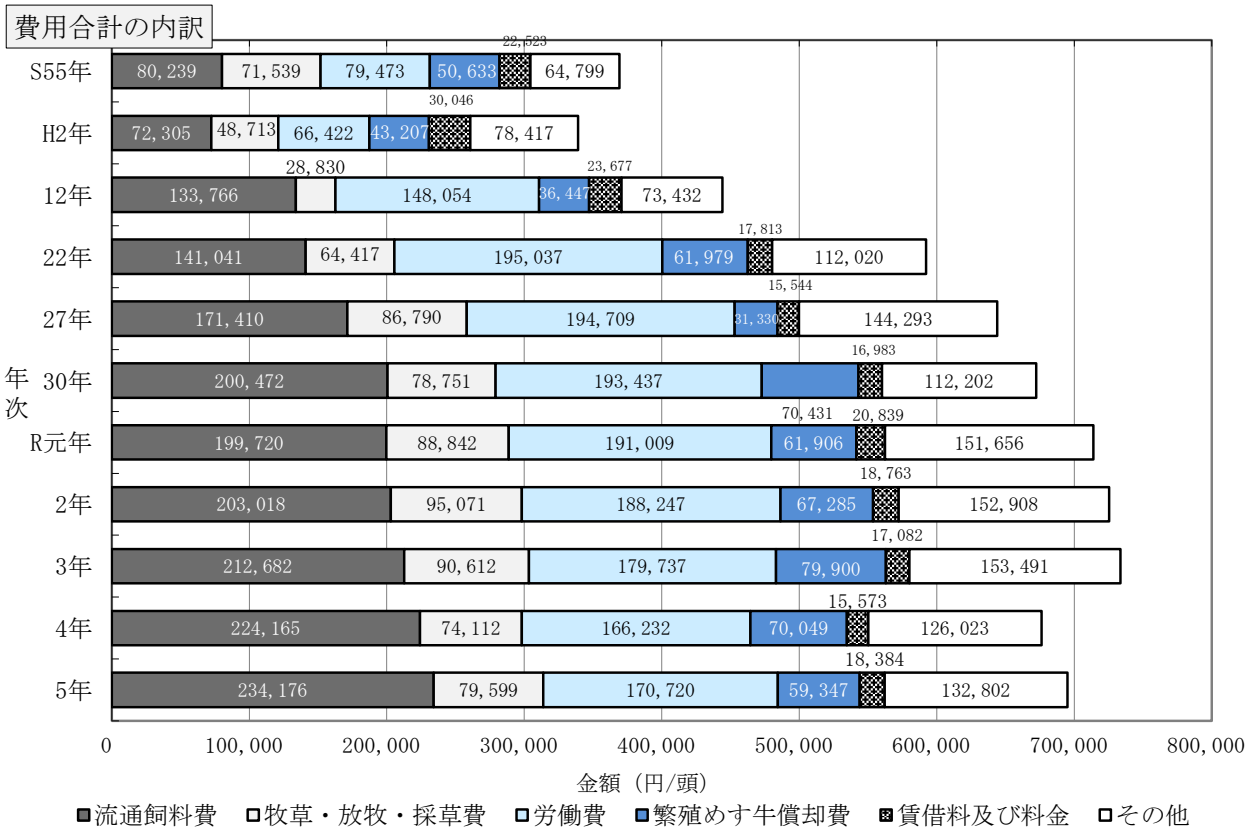
令和５年の子牛１頭当たりの費用合計は、695,028円となり、流通飼料費(33.7%)と労働費(24.6%)が高い割合を占めている。

（単位：円/頭）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	721,846	712,172	800,524	823,830	734,706	752,552
	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	586,878	644,076	725,292	733,504	676,154	695,028

※平成12年から調査期間変更。　　資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。



（2）子牛生産における収益性

令和５年の繁殖めす牛１頭当たりの所得は、前年に比べて96.7%減の4,123円となっている。

（単位：円）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
収益性	所　得	42,251	△ 78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	△10,089	220,427	107,123	141,728	123,832	4,123
	家族労働報酬（１日）	△ 21,114	△ 15,064	15,894	△ 3,586	△ 637	1,526	－	8,384	839	2,051	3,351	－

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。　　資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

（３）肥育牛（去勢若齢）生産費

令和５年の肥育牛１頭当たりの費用合計は、1,516,471円となり、もと畜費（54.6%）と流通飼料費（32.5%）が高い割合を占めている。

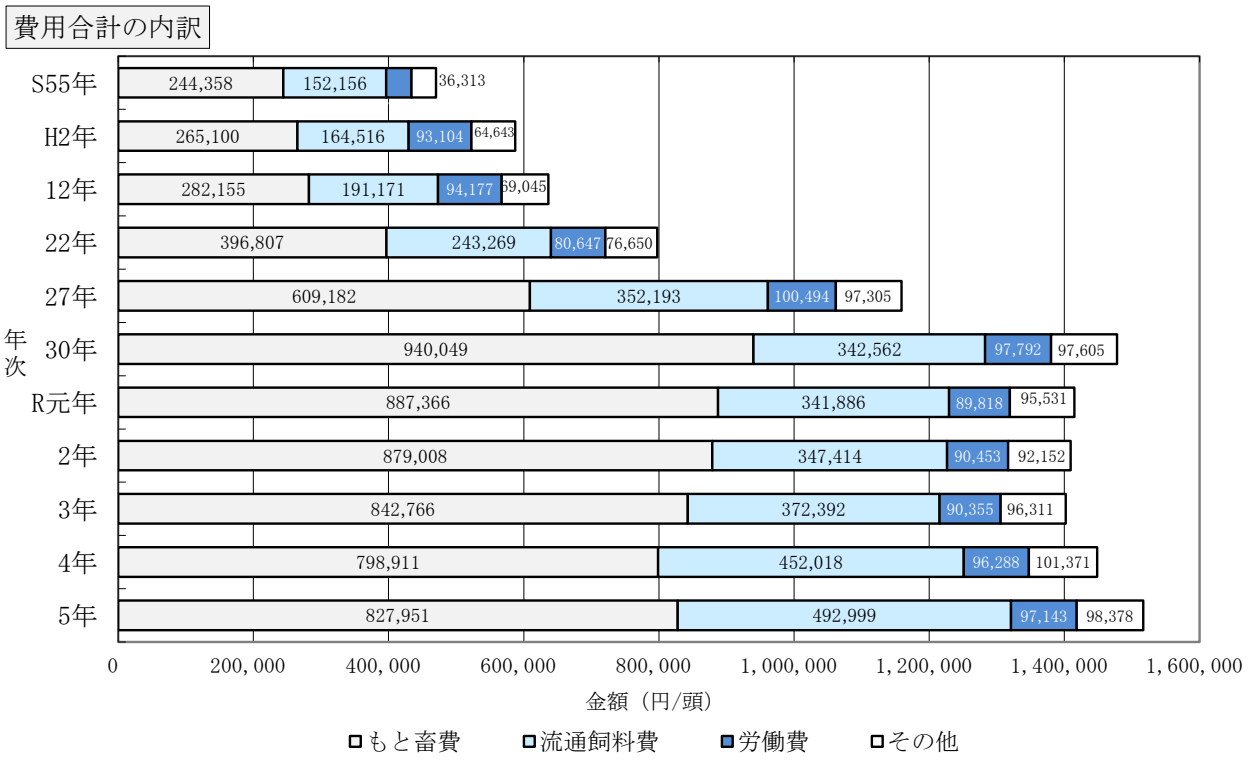
（単位：円/頭）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	825,090	1,175,121	1,413,614	1,409,475	1,452,028	1,520,687
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	797,373	1,159,174	1,409,027	1,401,824	1,448,588	1,516,471

※平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計



（４）肥育牛（去勢若齢）生産の収益性

令和５年の肥育牛１頭当たりの所得は、△110,894円となっている。

（単位：円）

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
収益性	所得（１頭）	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	8,866	165,800	△ 120,814	22,358	△ 28,257	△ 110,894
	家族労働報酬（１日）	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	—	18,394	—	918	—	—

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

3　豚

（1）肥育豚生産費

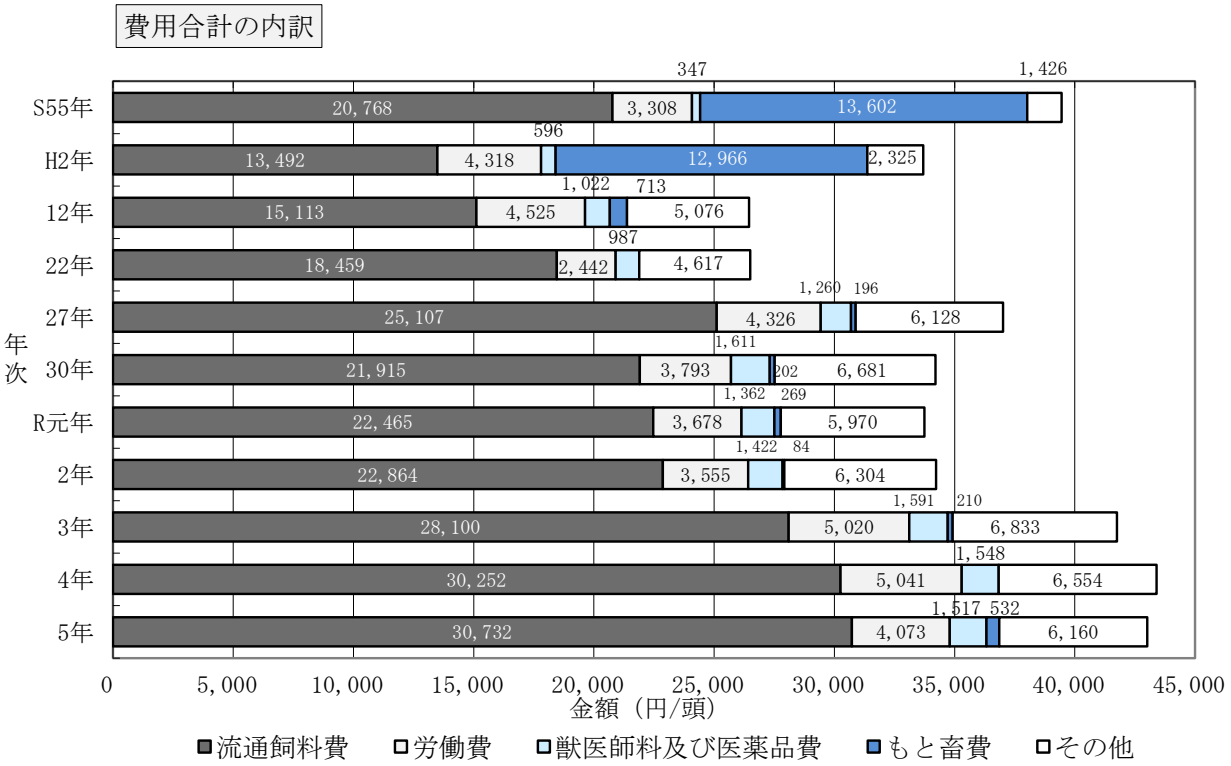
令和５年の肥育豚１頭当たりの費用合計は、43,014円となり、流通飼料費（71.4%）と労働費（9.5%）が高い割合を占めている。

（単位：円/頭）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	26,837	36,897	33,867	41,083	42,804	42,949
費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	26,505	37,017	34,229	41,754	43,395	43,014

※平成５年から調査対象農家を肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。　　資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。



（2）肥育豚生産の収益性

令和５年の肥育豚１頭当たりの所得は、前年に比べて177.4%増の3,659円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
所得（１頭）	△ 496	1,705	△ 317	7,000	5,314	7,945	5,935	5,234	7,149	2,060	1,319	3,659
家族労働報酬（１日）	－	1,882	△ 1,606	17,600	9,442	26,016	28,281	13,782	22,482	3,276	1,738	11,208

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。　　資料：畜産物生産費統計

※平成29年からデータなし。

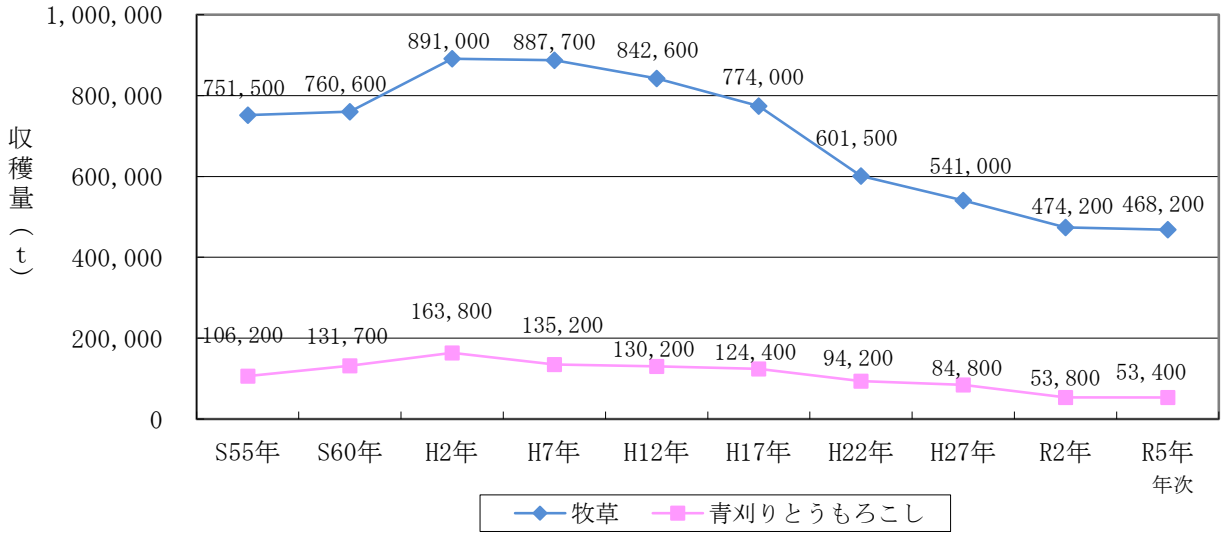
第６章　草地と飼料



１　自給飼料の生産

（１）飼料作物の収穫量

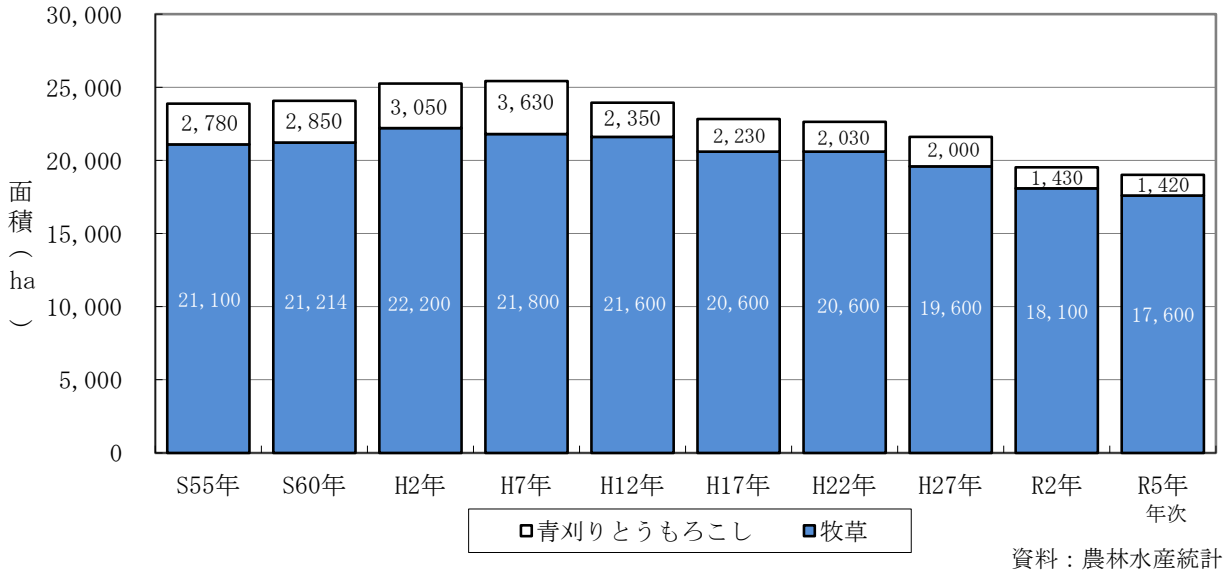
令和５年の飼料作物の収穫量は、令和２年に比べて牧草が1.3%減の468,200t、青刈りとうもろこしが0.7%減の53,400ｔとなっている。



資料：農林水産統計

（２）飼料作物の作付面積

令和５年の作付面積は、令和２年に比べて牧草が2.8%減の17,600ha、青刈りとうもろこしが0.7%減の1,420haとなっている。



資料：農林水産統計

2　草地面積

（１）事業別草地造成・整備面積（昭和36年～令和６年）

（単位：ha、％）

事業名	面積	割合
団体営草地開発整備事業	4,187.28	21.9
小規模草地改良事業	3,210.90	16.8
県営草地開発事業	2,177.35	11.4
畜産基地建設事業	1,410.20	7.4
小規模草地開発整備事業	1,245.61	6.5
畜産担い手育成総合整備事業	1,206.41	6.3
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00	5.1
飼料基盤整備事業	922.50	4.8
地域畜産総合対策事業	655.41	3.4
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40	2.5
共同利用模範牧場設置事業	442.80	2.3
農業公社牧場設置事業	431.41	2.3
集約牧野造成事業	368.00	1.9
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35	1.5
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60	1.4
改良牧野造成改良事業	188.00	1.0
公共育成牧場整備事業	179.32	0.9
県営公共牧場整備事業	130.76	0.7
公共牧場機能強化事業	90.74	0.5
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	25.00	0.1
草地畜産基盤整備事業	273.71	1.4
合　計	19,154.75	100.0

資料：県畜産課調査

（２）公共牧場数と放牧頭数（令和６年７月１日現在）

（単位：か所、ha、頭）

地域名	牧場数	面積		放牧頭数			
			うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等
東青	12	1,212	506	139	0	139	0
中南	3	172	56	11	0	11	0
三八	12	2,307	1,025	561	0	561	0
西北	12	1,102	568	238	0	238	0
上北	25	5,311	2,361	1,568	202	1,366	0
下北	22	2,908	1,308	220	0	218	2
合計	86	13,012	5,824	2,737	202	2,533	2



※端数処理のため合計面積が合わない場合がある　　資料：県畜産課調査

（３）水田転作による飼料作物作付面積

（単位：ha、％）

区分	H22年	H27年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
転作作物面積 ①	22,843	31,627	30,688	28,512	28,362	30,042	34,119	33,754	33,279	27,212
飼料作物面積 ②	5,413	12,496	11,852	10,841	10,185	9,882	12,547	14,400	12,871	9,063
割合 ②/①	23.7	39.5	38.6	38.0	35.9	32.9	36.8	42.7	38.7	33.3

※飼料用米含む　　資料：経営所得安定対策等の手引き

3　配合飼料の生産

（1）用途別入荷量

令和６年度の本県への用途別入荷量は約92万1千トンで、前年度に比べて１%の増となった。

（単位：t、%）

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他	配合・混合飼料	
	育すう	成　鶏	ブロイラー	子　豚	肉　豚	種　豚	乳牛用	肉牛用	家畜用	合計	うち配合飼料
S55年度	32,682	186,744	81,558	95,783	33,521	23,657	26,710	64,051	1,154	545,860	512,877
60年度	36,937	228,050	107,481	146,692	34,176	42,909	36,199	103,598	3,346	739,388	718,852
H2年度	39,968	253,177	183,397	233,344	85,149	58,587	44,646	138,039	6,215	1,042,522	1,016,583
7年度	38,346	233,150	188,993	199,422	79,536	53,331	44,352	143,301	10,433	1,005,847	990,864
12年度	34,550	213,943	204,191	162,640	99,296	49,834	56,629	133,954	3,335	970,119	958,372
17年度	34,032	216,257	250,450	142,071	124,349	40,324	55,075	134,106	278	998,274	996,941
22年度	36,987	214,483	249,129	108,738	142,915	45,552	44,926	141,728	64	1,030,026	1,026,555
27年度	39,030	258,767	242,405	94,102	139,733	49,034	36,288	143,848	49	1,041,687	1,041,204
R3年度	33,190	256,066	242,707	82,604	160,348	47,694	42,052	115,268	3,443	1,018,058	1,015,785
前年度比	85	99	100	88	115	97	116	80	7,027	98	98
R4年度	29,595	238,173	235,494	82,355	164,846	46,038	42,521	122,287	3,424	999,770	997,472
前年度比	89	93	97	100	103	97	101	106	99	98	98
R5年度	32,842	193,842	188,321	82,481	168,990	43,194	40,769	124,045	2,224	910,723	908,173
前年度比	111	81	80	100	103	94	96	101	65	91	91
R6年度	30,710	225,216	209,411	76,360	147,847	42,580	36,986	120,105	2,244	920,948	918,505
前年度比	94	116	111	93	87	99	91	97	101	101	101

資料：飼料月報

（2）用途別生産量

令和６年度の用途別生産量は約196万8千トンで、前年度と同程度であった。

（単位：t、%）

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他	配合・混合飼料	
	育すう	成　鶏	ブロイラー	子　豚	肉　豚	種　豚	乳牛用	肉牛用	家畜用	合計	うち配合飼料
S60年度	37,786	233,779	287,450	166,203	50,542	46,486	33,182	100,756	3,338	959,522	959,522
H2年度	51,022	306,290	433,446	291,848	120,048	80,641	68,564	168,681	10,293	1,530,833	1,530,833
7年度	46,329	311,027	447,485	250,820	111,773	69,574	48,793	140,946	10,496	1,437,243	1,437,243
12年度	52,923	381,432	523,579	171,904	145,867	74,410	51,070	133,387	2,662	1,615,609	1,595,867
17年度	53,334	369,661	598,559	168,046	187,447	90,890	60,514	115,829	445	1,714,420	1,710,511
22年度	56,969	338,738	636,562	168,587	221,140	86,279	60,914	159,337	363	1,791,923	1,789,322
27年度	63,910	399,357	717,800	155,747	240,944	87,113	71,901	195,428	312	1,992,155	1,991,687
R3年度	58,386	403,085	742,552	140,068	257,686	93,300	77,735	178,101	3,740	2,014,183	2,013,306
前年度比	91	101	103	90	107	107	108	91	1,199	101	101
R4年度	55,694	384,656	735,485	144,932	261,936	90,584	78,909	180,366	3,569	1,995,384	1,994,621
前年度比	95	95	99	103	102	97	102	101	95	99	99
R5年度	56,166	366,699	735,239	144,084	268,640	87,787	75,616	174,919	2,258	1,971,595	1,971,043
前年度比	101	95	100	99	103	97	96	97	63	99	99
R6年度	52,474	410,789	720,844	141,194	253,954	90,792	73,133	163,369	2,241	1,968,324	1,967,630
前年度比	93	112	98	98	95	103	97	93	99	100	100

資料：飼料月報

4　青森県飼料作物奨励品種

令和８年２月現在

（１）牧草

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
イネ科牧草				
オーチャードグラス	アキミドリⅡ	極早生種	採草放牧兼用（高標高地を除く）。	平成１４年
	まきばゆうか	極早生種	越夏性、耐病性に優れる。採草放牧兼用。	令和　７年
	はるねみどり	早生種	１番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成２３年
	わせじまん	早生種	多収で、糖含量が高くサイレージ発酵品質に優れる。	令和　８年
	まきばたろう	中生種	夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成２３年
	きよは	中生種	越夏性、耐病性に優れる。採草放牧兼用。	令和　７年
	ハルジマン	晩生種	１番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成１８年
	バッカス	晩生種	１番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成２６年
	えさじまん	晩生種	越冬性及び永続性に優れる。	令和　４年
チモシー	クンプウ	極早生種	秋の生育良好。採草用。	昭和６１年
	ユウセイ	極早生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。採草用。	平成２６年
	ノサップ	早生種	再生力が旺盛で収量が多い。採草用。	平成　５年
	マオイ	早生種	収量が多く、越冬性及び越夏性に優れる。採草用。	令和　５年
	クライマックス	中生種	葉長、葉幅が大きい。採草用。	昭和４４年
	アルテミス	中生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成３０年
	ヘリオス	中生種	収量が多い。採草用。	平成３０年
	なつぴりか	中生種	収量が多く、越夏性に優れる。採草用。	令和　６年
	キリタップ	晩生種	耐倒伏性に優れる。採草用。	平成１１年
イタリアンライグラス	ナガハヒカリ	中生種	耐雪性が極めて強い。採草用。	平成　８年
ペレニアルライグラス	ヤツカゼ２	中生種	早春早期利用に適し、夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成２３年
	フレンド	晩生種	耐雪性が強い。採草放牧兼用。	昭和５０年
	夏ごしペレ	晩生種	越夏性及び永続性に優れる。採草放牧兼用。	令和　４年
メドウフェスク	まきばさかえ	早生種	越冬性に優れ、早春の生育が良好。放牧用。	平成２８年
フェストロリウム	那系１号	早生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成３１年
	東北１号	中生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成２６年
ケンタッキーブルーグラス	ラトー	早生種	収量が多く、越冬性、耐病性に優れる。放牧用。	平成２６年
リードカナリーグラス	パラトン	早生種	草生密度が高く、雑草の侵入が少ない。刈遅れにより嗜好性が低下するため、1番草は出穂期までに刈り取る。	平成２０年
マメ科牧草				
アカクローバ	ナツユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種、チモシーの極早生・早生品種との混播に適する。	平成２５年
	リョクユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種との混播に適し、永続性に優れる。	平成２８年
シロクローバ	フィア	早生種	葉は密生し、再生力に優れる。放牧用。	昭和４４年
	マキバシロ	早生種	イネ科との混播適性が高い。	平成　５年
アルファルファ	ケレス	早生種	耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成２６年
	ウシモスキー	早生種	収量が多く、耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成３０年

（２）サイレージ用とうもろこし

品種名（系統名）	早晩性	適当な栽植密度	品種特性等	指定年次
ゴールドデントKD421	極早生種	8,000本/10a	収量が多く、耐倒伏・折損性に優れる。	令和　５年
ゴールドデントKD090カリス	極早生種	8,000本/10a	雌穂割合が高く、収量が多い。	令和　５年
Z-corn950α（ZX9595）	極早生種	8,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	令和　５年
パイオニア100日（P9400）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成２７年
パイオニア106日（36B08）	早生種	7,000本/10a	短稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成１５年
LG3490（旧：スノーデント108）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成２３年
パイオニア108日（34N84）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成２３年
スノーデント110（LG30500）	早生種	7,000本/10a	長稈で、耐倒伏性に優れる。	令和　４年
パイオニア110日（P1204）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れ、紋枯病に強い。	令和　７年
パイオニア118日（P2088）	中生種	6,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成２８年
スノーデント115（LG31.588）	中生種	6,000本/10a	雌穂割合が高く、収量が多く、耐倒伏性に優れる。	令和　７年
クミアイデント118N（GN1645）	晩生種	6,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成１９年
サイレージコーンNS125スーパー	晩生種	6,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	令和　７年

（３）その他飼料作物

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
エン麦	前進	中生種	短稈で、子実が多い。サイレージ用。	昭和４４年
	アムリⅡ	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成１８年
	ニューオールマイティー	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成１８年
ライ麦	春香	晩生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成２３年
飼料用稲	えみゆたか	早生種	冷涼地帯で玄米収量が多く、いもち病抵抗性に優れる。飼料用米向け品種。	平成２８年
	ゆたかまる	中生種	玄米収量が多く、耐倒伏性及びいもち病抵抗性は極めて強い。飼料用米向け品種。	令和　２年
	あおばまる	中生種	長稈で収量が多く、耐冷性が極めて強い。ＷＣＳ向け品種。	令和　３年

第７章　家畜衛生

１　家畜防疫事業の推移



家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

（単位：頭、羽、群）

事業区分			H6年度	12年度	17年度	22年度	30年度	R2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
検査事業	牛	ブルセラ症	11,625	3,819	5,825	3,486	1,488	2,498	77	9	6	7
		結核	11,674	3,910	6,112	3,574	1,578	2,559	88	7	6	0
		ヨーネ病	1,656	7,150	9,046	7,704	11,463	11,896	13,385	14,128	11,066	11,151
		アカバネ病	1,529	1,026	540	489	490	485	490	464	229	231
		牛伝染性リンパ腫	1,034	617	500	530	1,768	2,097	1,792	1,844	1,707	1,473
		牛伝染性疾病	90,303	87,534	70,913	65,722	85,499	85,982	84,060	86,645	85,939	85,693
	馬	馬伝染性貧血	2,992	1,585	1,309	823	－	－	－	－	－	－
		馬伝染性子宮炎	652	496	385	266	－	－	－	－	－	－
		馬パラチフス	1,035	602	450	210	27	48	68	93	29	51
		馬鼻肺炎	447	300	230	209	21	20	25	30	10	14
	豚	豚オーエスキー病	4,359	4,612	4,220	4,961	790	740	701	725	690	705
		豚熱	－	－	－	520	450	1,350	1,808	1,889	1,605	1,723
		豚伝染性疾病	264,869	192,128	184,434	172,084	191,078	196,306	194,286	190,350	188,356	154,163
	家きん	ニューカッスル病（一般）	6,340	5,110	4,977	4,935	2,100	2,100	2,100	1,960	2,100	1,740
		ニューカッスル病（種鶏）	3,006	2,500	2,880	2,350	2,300	2,300	1,300	1,050	1,100	1,100
		鶏サルモネラ症（一般）	8,000	6,500	4,807	3,950	2,300	2,300	2,100	2,100	2,100	1,740
		マイコプラズマ症（種鶏）	8,200	6,500	5,004	3,850	2,300	2,300	1,300	1,050	1,100	1,100
		家きん伝染性疾病	370,730	288,997	304,995	439,510	377,663	421,353	373,603	364,874	333,606	346,250
	蜂	腐蛆病	10,444	10,293	9,957	9,077	7,878	7,187	7,329	7,238	7,107	7,037
自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎（混合ワクチンを含む）	5,694	7,349	8,172	9,053	12,625	10,785	10,283	10,370	9,979	7,289
		牛ヘモフィルス感染症	－	－	－	－	7,386	9,494	9,046	9,086	8,821	6,201
		アカバネ病	9,569	9,323	8,430	8,015	7,226	6,815	5,982	5,798	5,437	4,965
		牛クロストリジウム（混合）	－	－	－	8,569	6,574	5,850	5,169	4,882	4,430	3,951
	馬	馬インフルエンザ（混合ワクチンを含む）	1,492	234	204	710	583	616	650	694	573	578
		馬鼻肺炎	442	285	156	187	268	262	231	199	245	229
	豚	豚丹毒	11,790	508,262	455,122	170,852	42,807	48,988	43,056	38,139	35,394	35,308
		豚流行性脳炎・豚パルボウィルス混合	1,659	1,101	704	280	200	200	340	260	250	300
		豚流行性脳炎	11,208	2,987	2,839	1,550	393	477	400	430	460	460
	鶏	ニューカッスル病	64,790	52,290	63,090	93,000	66,000	59,000	59,000	－	－	－
		ニューカッスル病（伝染性気管支炎混合を含む）	13,000	36,000	39,000	64,000	56,000	62,000	60,000	95,000	95,000	91,000

資料：県畜産課調査

2　監視伝染病発生状況

牛のヨーネ病、牛伝染性リンパ腫及び豚丹毒の発生が引き続きみられている。

（単位：頭、羽、群）

区　分		年次												
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
家畜伝染病（法第2条）	ヨーネ病	38	25	5	25	2	1	5	14	9	10	4	5	7
	結核													
	高病原性鳥インフルエンザ				14					10	12	2		
	腐蛆病								14					
届出伝染病（法第4条）	牛伝染性リンパ腫	29	44	42	42	60	73	70	68	87	74	72	56	40
	破傷風（牛）							1	2			3		1
	サルモネラ症・牛			2	1	2		12		3	3	3	5	6
	牛ウイルス性下痢												2	
	サルモネラ症・豚	4												
	サルモネラ症・鶏									3				
	馬鼻肺炎						1							
	豚流行性下痢		202	15	19									
	豚丹毒	9	67	37	39	33	11	9	5	8	8	27	22	10
	豚赤痢													2
	鶏痘					2				2				
	鶏伝染性気管支炎								5	4		18		3
	鶏伝染性喉頭気管炎											8		
	ロイコチトゾーン症	16												
	バロア病					80		1						
	アカリンダニ病						1							

資料：県畜産課調査

第８章　環境保全

環境汚染発生状況

（１）環境汚染の種類別発生件数

令和６年度の畜産環境汚染の発生は15件で、前年より増加

（単位：件）

区　分	H22年度	H27年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
悪臭発生	7	7	6	5	4	4	6	5	7
水質汚濁	6	1	6	2	2	2	5	1	3
害虫発生	1					1	1	1	1
水質・悪臭	2	2	3	2	1				
悪臭・害虫	2			1	1	3		1	1
その他	3	1	2	1	2		3	2	3
計	21	11	17	11	10	10	15	10	15

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日　　資料：県畜産課調査

（２）畜種別発生件数

①　畜種別合計

（単位：件）

区　分	H22年度	H27年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
豚	8	5	5		1	1	4	2	4
乳用牛	3		2	2	3	1		1	1
肉用牛	9	5	9	8	4	5	10	5	7
採卵鶏	1	1		1	1		1		
ブロイラー			1						
その他（馬・めん羊など）					1	3		2	3
計	21	11	17	11	10	10	15	10	15

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日　　資料：県畜産課調査

②　飼養規模別件数（畜種別合計の令和６年度内訳）

（単位：件）

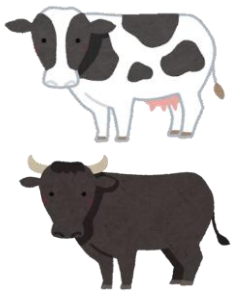
区　分		水質汚濁	悪臭	害虫	水質･悪臭	水質･害虫	悪臭･害虫	その他	計
豚	1～99頭								0
	100～999頭		1						1
	1,000～1,999頭	1							1
	2,000～2,999頭	1							1
	3,000頭～							1	1
採卵鶏	1～1,999羽								0
	2,000～9,999羽								0
	10,000～49,999羽								0
	50,000～99,999羽								0
	100,000羽～								0
ブロイラー	1～1,999羽								0
	2,000～99,999羽								0
	100,000～299,999羽								0
	300,000～499,999羽								0
	500,000羽～								0
乳用牛	1～9頭								0
	10～29頭								0
	30～99頭								0
	100～299頭								0
	300頭～	1							1
肉用牛	1～9頭								0
	10～19頭								0
	20～99頭	1					1	1	3
	100～499頭		2					1	3
	500頭～	1							1
その他		2		1					3
計		7	3	1	0	0	1	3	15

資料：県畜産課調査

第９章　参考資料

１　青森県酪農
・肉用牛生産近代化計画の目標（令和８年３月）

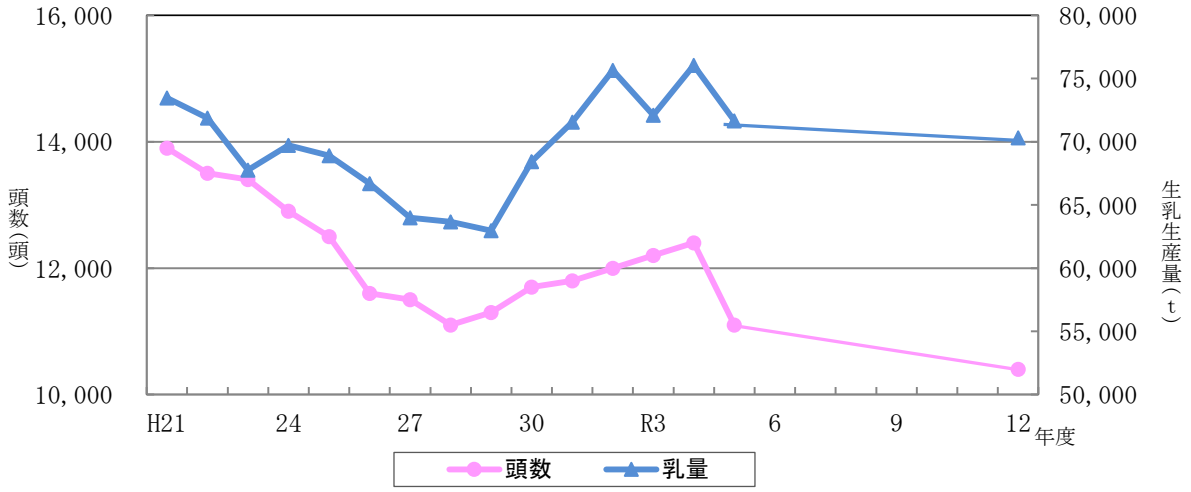
（１）生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標



（単位：頭、kg、t）

区分	総頭数（頭）	成牛頭数（頭）	経産牛頭数（頭）	経産牛１頭当たり年間搾乳量（kg）	生乳生産量（ｔ）
現　在（R5年度）	11,100	8,540	7,950	8,542	71,664
目　標（R12年度）	10,400	8,000	7,400	9,500	70,300

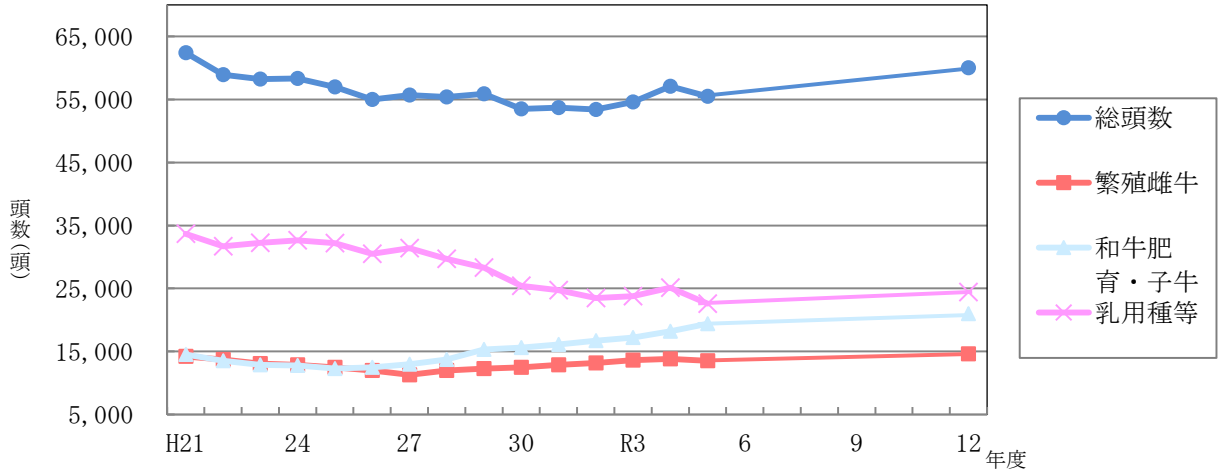
（注）成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



（２）肉用牛の飼養頭数の目標

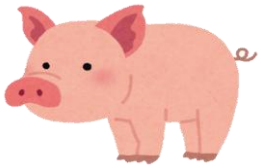
（単位：頭）

区分	肉用牛総頭数	肉専用種 合計	肉専用種 繁殖雌牛（育成牛含む）	肉専用種 肥育牛	肉専用種 その他	乳用種等 合計	乳用種等 乳用種	乳用種等 交雑種
現在（R5年度）	55,500	32,900	13,500	13,600	5,800	22,600	9,660	12,940
目標（R12年度）	60,000	35,600	14,600	14,700	6,300	24,400	9,700	14,700



2　青森県養豚・養鶏振興プランの目標（令和４年３月）

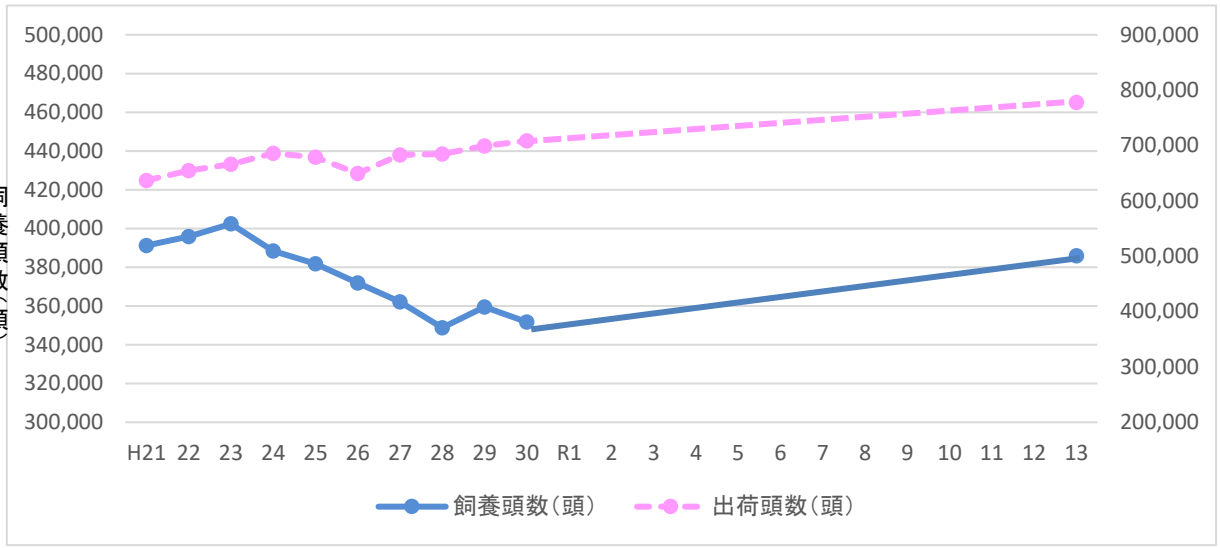
（１）豚の飼養頭数の目標





区　分	飼養頭数（頭）	出荷頭数（頭）
現　在 (H30年度)	351, 800	708, 668
目　標 (R13年度)	386, 000	778, 000

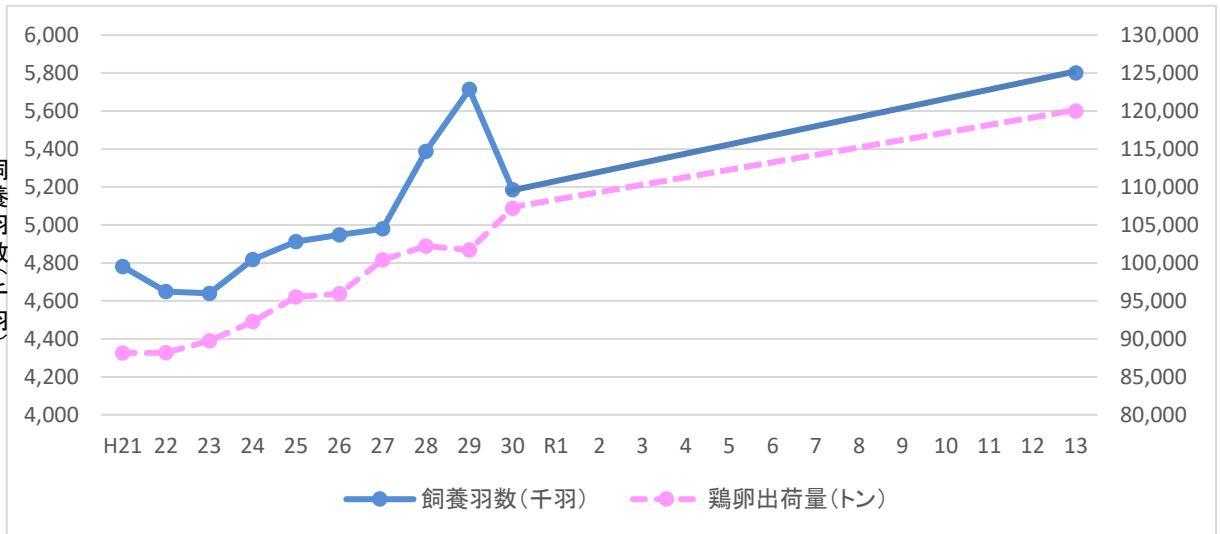
（注）出荷頭数は畜産課調査。



（２）採卵鶏の飼養羽数の目標

区　分	飼養羽数（千羽）	鶏卵出荷量（千トン）
現　在 (H30年度)	5, 186	107
目　標 (R13年度)	5, 800	120

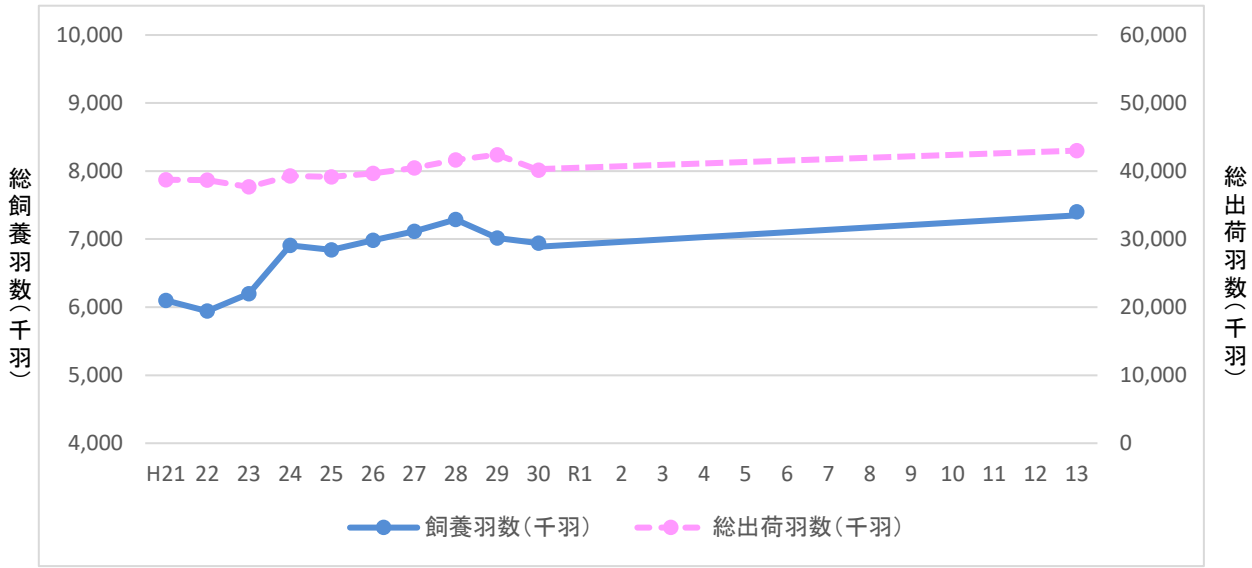
（注）1. 飼養頭数は成鶏めす（６か月以上）の数
2. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。



（３）ブロイラーの飼養羽数の目標

区　分	飼養羽数 （千羽）	総出荷羽数 （千羽）
現　在 （H30年度）	6, 943	40, 137
目　標 （R13年度）	7, 400	43, 000





3　畜産行政組織の概要

（令和8年4月1日現在）

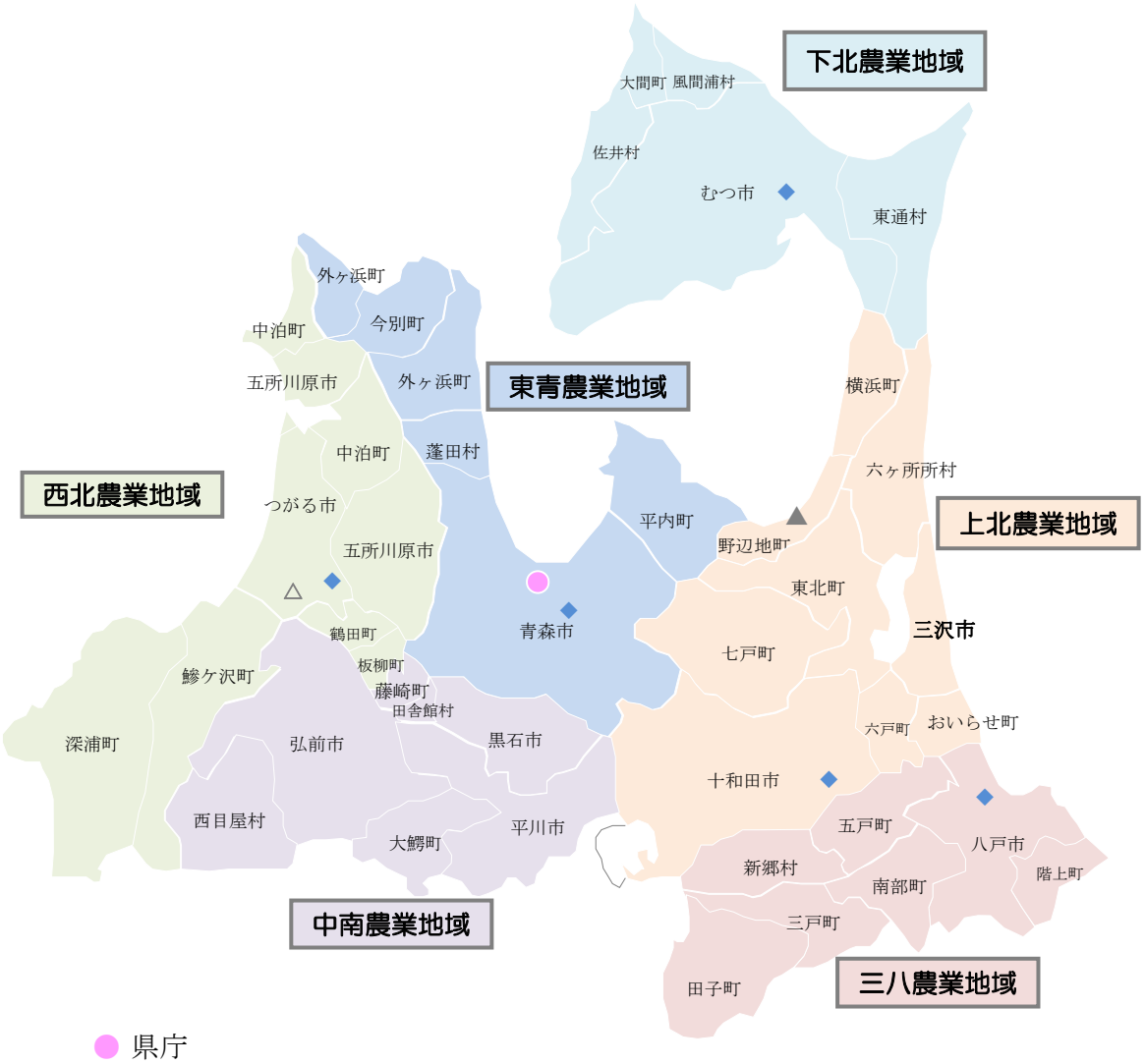
	電話番号	FAX	郵便番号	住　所
農林水産部				
畜産課				
企画管理グループ	017-734-9495	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
経営支援グループ	017-734-9496			
衛生・安全グループ	017-734-9498			
飼料環境グループ	017-734-9497			
三八農林水産事務所 八戸家畜保健衛生所				
衛生指導課	0178-27-7415	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2
防疫課				
畜産振興課				
西北農林水産事務所 つがる広域家畜保健衛生所				
衛生指導課	0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2-1
防疫課				
畜産振興課				
上北農林水産事務所 中央家畜保健衛生所				
衛生指導課	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23
防疫課				
畜産振興課	0176-23-5115			
病性鑑定課 （青森市）	017-764-1744	728-0335	030-0134	青森市大字合子沢字松森395-26
下北農林水産事務所 むつ家畜保健衛生所				
防疫・衛生指導課	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25
畜産振興課				

4　試験研究機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター

	電話番号	FAX	郵便番号	住所
畜産研究所				
繁殖技術肉牛部				
中小家畜・シャモロック部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
酪農飼料環境部				
和牛改良技術部	0173-26-3153	26-3205	038-2816	つがる市森田町森田月見野558

5　行政区域・各機関所在地



● 県庁
◆ 家畜保健衛生所
▲ 畜産研究所
△ 畜産研究所　和牛改良技術部

６　畜産関係機関・団体

（令和8年3月31日現在）

	名称	郵便番号	住所	電話番号	ＦＡＸ
協会等	一般社団法人青森県畜産協会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2523	731-1196
	公益社団法人青森県獣医師会	030-0813	青森市松原2-8-2	017-722-5989	722-6010
	公益社団法人青森県獣医師会 食鳥検査センター	034-0001	十和田市大字三本木字野崎1-50	0176-58-0192	58-0193
	青森県養鶏協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	752-8191
	一般社団法人青森県養豚協会	030-0813	青森市松原3-8-5	017-752-1027	777-1590
	青森県酪農協会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆうき青森らくのう営農ｾﾝﾀｰ内	0175-64-3241	64-3244
	青森県飲用牛乳協会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部畜産酪農課内	017-729-8650	762-1082
	一般社団法人青森県配合飼料 価格安定基金協会	030-0812	青森市堤町1-2-21 青森県食糧会館３階	017-777-6543	775-5354
	青森県牛乳普及協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8631	762-1082
	一般社団法人日本短角種登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	公益社団法人全国和牛登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	東北軽種馬協会	039-0814	三戸郡南部町坪渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
	一般社団法人青森県畜産・飼料 コンビナート振興協会	039-1164	八戸市下長2-2-24 下長第4オフィス2階7号室	0178-51-8868	51-8876
農協等	全国農業協同組合連合会 青森県本部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1082
	JA全農あおもり畜産酪農部 畜産酪農課牛乳冷却処理所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ゆうき青森農業協同組合 らくのう営農センター	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-0814	三戸郡南部町坪渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
その他	公益社団法人あおもり農業 支援センター	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
	青森県食肉事業協同組合	030-0113	青森市第二問屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青森県養蜂協会	030-0822	青森市中央2-1-15 （一社）青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	一般社団法人青森県農業会議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館４階	017-774-8580	774-8588

7　畜産関係施設

	名称	郵便番号	住所	電話番号	ＦＡＸ
家畜市場	青森県家畜市場 （青森県畜産農業協同組合連合会）	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八戸産地家畜市場 （八戸畜産農業協同組合）	039-0814	三戸郡南部町坪渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三本木産地家畜市場 （三本木畜産農業協同組合）	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	八戸サラブレッド家畜市場 （青森県軽種馬生産農業協同組合）	039-0814	三戸郡南部町坪渡鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
食肉センター	三沢市食肉処理センター	033-0022	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	スターゼンミートプロセッサー㈱ 青森工場三戸ビーフセンター	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤9-9	0179-25-2233	25-2234
	ＩＨミートパッカー株式会社 十和田ミートプラント	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
	日本フードパッカー株式会社 青森工場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
	ＡＴＯ食肉センター	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡1-1	0172-58-4683	55-6726
	ＩＨミートパッカー株式会社 十和田ビーフプラント	034-0041	十和田市相坂六日町山155	0176-58-5232	58-5233
主な乳業工場	萩原乳業株式会社	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	一般財団法人新郷村 ふるさと活性化公社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2522
	有限会社斗南丘牧場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	一般財団法人十和田湖 ふるさと活性化公社	034-0301	十和田市奥瀬堰道39-1	0176-72-3201	72-3204

８　県内の特徴的な動き（令和７年度）

（１）自給飼料の増産と耕畜連携体制の強化に向けた取組

県では、自給飼料増産に向けて、ライムギと青刈りとうもろこしの二毛作栽培や稲WCSの生産利用拡大、公共牧場の利用体制強化のほか、敷料の安定確保のため、津軽と県南地域におけるもみ殻の広域流通体制の強化に取り組んでいます。



収穫したライムギの調整作業



稲WCSの生産利用拡大に向けた研修会

（２）ゲノミック評価の活用推進による繁殖基盤の強化と子牛市場活性化

肉用牛経営の繁殖基盤を強化し、県産子牛の市場評価の向上につなげるため、雌子牛のゲノミック評価に支援しているほか、評価結果を子牛市場で公表するとともに、特に評価が高い雌子牛に対しては導入奨励金を交付し県内保留を促進する取組を実施しています。



ゲノム高評価牛（リボン牛）



子牛市場

（３）畜産業の担い手確保対策

農業高校生を対象にした家畜審査研修会や全日本ホルスタイン共進会北海道大会見学研修バスツアーの開催や普通高校生を対象とした畜産施設見学バスツアーの実施により、畜産業への理解醸成と体験機会の提供等により畜産業の担い手確保に取り組んでいます。



農業高校生と出品者の交流
（全日本ホルスタイン共進会北海道大会）



畜産施設見学バスツアー（酪農施設）の見学風景

８　県内の特徴的な動き（令和７年度）

（４）獣医師確保対策

令和3年3月に改訂した「青森県獣医師職員確保プラン」に基づき、将来にわたり県獣医師職員を安定的に確保するため、協定締結校である北里大学との連携強化を進めるとともに、学生実習・インターンシップの受入や小中高校での出前講座、修学資金の給付などに取り組んでいます。



学生実習の受入



家保職員の実習

（５）特定家畜伝染病発生時等における防疫体制構築に係る取組

県内における特定家畜伝染病の発生時等に備え、防疫措置を円滑に実施できる体制を構築することを目的として、青森県特定家畜伝染病防疫情報管理システムの運用を開始し、関係機関における連絡体制と初動対応を確認するため、システムを活用した防疫演習を行いました。



システムを活用した資材発注



動員者への防護服着脱訓練



県外販売不可

元国鵬

もとくにほう

黒１５７７４（８２．３）
生年月日：令和２年１月６日
産　　地：つがる市
繁 殖 者：畜産研究所



平白鵬（鳥取・東伯） 黒原5616 直検1.22 現検 H25	平茂晴（長崎・壱岐） 黒原3712 直検1.22 間検1.01　4.0	糸晴美（島根・出雲） しげとし（鹿児・鹿屋）
	みどり（岐阜・高山） 黒原1311663	白清85の3（岐阜・高山） みすず（岐阜・高山）
	第１花国（青森・つが） 黒12510 直検1.36 間検1.03　2.7	北国７の８（島根・大田） あおはな（島根・安来）
もとくに（栃木・那須） 黒原1443702	もとみつ（栃木・那須） 黒原1280419	美津福（兵庫・美方） もとじろう（栃木・那須）

父は鳥取県の糸桜系「平白鵬」、母「もとくに」は「美国桜」の全きょうだいで、糸桜系を重ねて作出した種雄牛です。

現場後代検定では、上物率及び５等級率においても歴代トップクラスの成績を示し肉質の改良効果が期待できます。

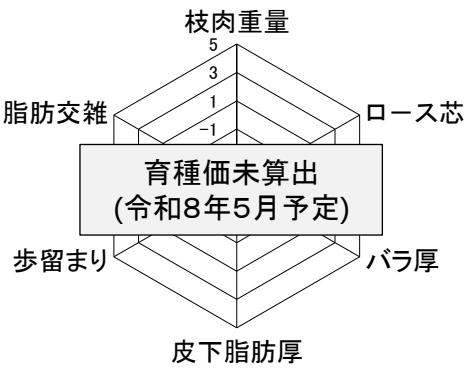
測定値	
体高	148.0
胸囲	216.0
胸深	80.5
尻長	62.0
かん幅	52.0
体重	738.0

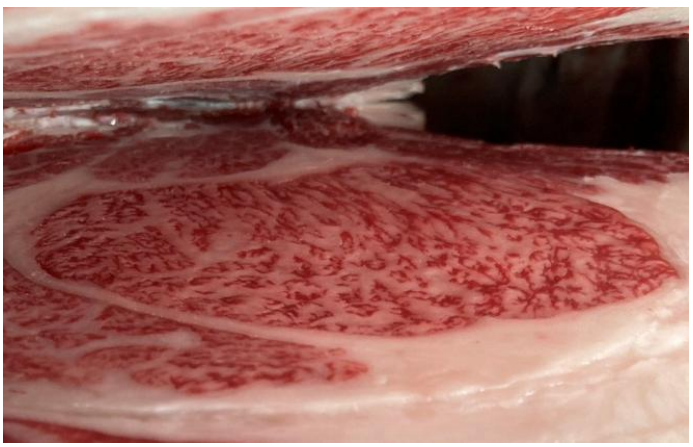
直接検定　1.08
現場検定（平均　ｎ＝12）
BMS 8.6　枝重 460.9kg

推奨交配パターン
気高系雌牛全般

現場後代検定成績

項　目	去勢	めす
頭　数	8頭	4頭
枝肉重量	479.2kg	442.6kg
ロース芯	68.0cm^2	68.8cm^2
脂肪交雑	8.8	8.3
上物率	100%	100%
5等級率	87.5%	50%





現場検定調査牛　めす（元国鵬×新白清２×茂勝）
枝肉重量 468kg　ロース芯69cm^2 BMSNo. 10

県外販売可

元忠百合

もとただゆり

黒１５７７５（８４．０）
生年月日：令和元年１１月２４日
産　　地：上北郡横浜町
繁 殖 者：古川　亮



安亀忠 （鹿児・鹿屋） 黒原5908	喜亀忠 （鹿児・霧島） 黒原5136 直検1.30 現検 H22	忠茂勝 （鹿児・姶良）	かめてる （鹿児・霧島）
	さつき （鹿児・鹿屋） 黒原1413319	安糸福 （熊本・球磨）	やすこ （鹿児・鹿屋）
	百合茂 （鹿児・薩摩） 黒原4086 直検1.54 現検 H14	平茂勝 （鹿児・薩摩）	しらゆり （鹿児・薩摩）
さゆり （栃木・那須） 黒原1641731	ふくみ （栃木・那須） 黒原1584185	菊福秀 （岩手・奥州）	はなみ （栃木・那須）

父は鹿児島全共で農林水産大臣賞を受賞した気高系「安亀忠」、母「さゆり」は「もとじろう」系の雌牛です。現場後代検定では、歴代基幹種雄牛の中で枝肉重量が最も優れ、肉質成績においてもトップクラスと質量兼備の成績でした。

特にめす産子は、枝肉重量492kg、BMSが10.5、5等級率100%と非常に優れ、繁殖雌牛の改良にも期待できます。

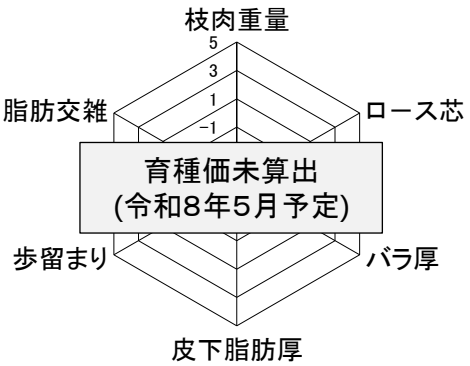
測定値	
体高	154.2
胸囲	218.0
胸深	80.0
尻長	66.0
かん幅	57.0
体重	784.0

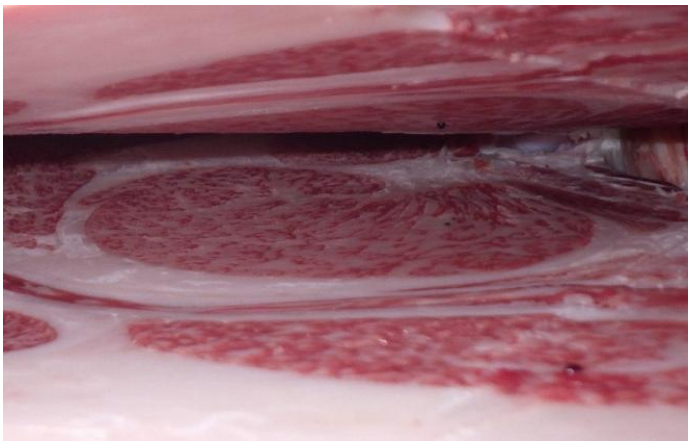
直接検定　1.31
現場検定（平均　n＝12）
BMS 9.0　枝重 500.3kg

推奨交配パターン
兵庫系及び糸桜系の雌牛全般

現場後代検定成績

項　目	去勢	めす
頭　数	8頭	4頭
枝肉重量	508.6kg	492.1kg
ロース芯	64.0cm^2	74.5cm^2
脂肪交雑	8.3	10.5
上物率	100%	100%
5等級率	62.5%	100%





現場検定調査牛　めす（元忠百合×隆之国×安福久）
枝肉重量 515kg　ロース芯78cm^2　BMSNo. 10

県外販売可

第１久桜

だいいちひさざくら

黒１５５６８（８２．９）
生年月日：平成３０年１０月１３日
産　　地：上北郡横浜町
繁 殖 者：古川　亮



安福久（栃木・那須）黒原4416	安福１６５の９（岐阜・高山）黒原1683	安福（岐阜）（兵庫・美方）	
	直検1.32	しげふじ１３の７（岐阜・高山）	
	間検0.98 2.6	紋次郎（兵庫・美方）	
	もとじろう（栃木・那須）	もとひかり（島根・出雲）	
	黒1868119		
	第１花国（青森・つが）黒12510	北国７の８（島根・大田）	
	直検1.36	あおはな（島根・安来）	
	間検1.03 2.7	美津福（兵庫・美方）	
もとくに（栃木・那須）黒原1443702	もとみつ（栃木・那須）黒原1280419	もとじろう（栃木・那須）	

直接検定　1.00
現場検定（平均　n＝14）
BMS 9.9　枝重 447.3kg

父は名牛「安福久」、母「もとくに」は名牛「美国桜」の全きょうだいです。

本牛は、BMS No.・上物率・５等級率において、青森県歴代１位と非常に優れた成績でした。高い脂肪交雑と小ザシ、つくりの良さを兼ね備えた枝肉生産が期待できます。

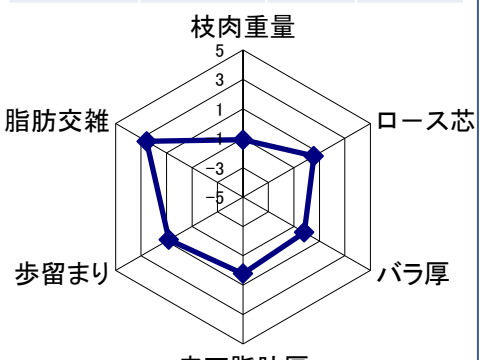
測定値	
体高	148.0
胸囲	212.0
胸深	81.0
尻長	63.5
かん幅	52.0
体重	693.0

推奨交配パターン
気高系及び糸桜系の雌牛全般



現場検定調査牛　めす（第1久桜×平安平×第2勝王）
枝肉重量 537kg　ロース芯79cm² BMSNo. 12

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	24.965	C	0.887
ロース芯	20.357	B	0.884
バラ厚	0.912	C	0.869
皮下脂肪	−0.544	B	0.890
推定歩留	3.499	A	0.883
脂肪交雑	3.777	S	0.894
オレイン酸	−1.320	C	—
MUFA	−1.089	C	—



令和7年11月第61回育種価評価から

県外販売可

亀花邦

かめはなくに

黒１５６１９（８４．７）
生年月日：平成３０年１１月１４日
産　　地：上北郡六戸町
繁 殖 者：小野寺 邦男



第１花国	北国７の８	第７糸桜
（青森・つが）	（島根・大田）	（島根・仁多）
黒12510	黒原1530	きたぐに７
直検1.36	直検1.30	（島根・大田）
間検1.03 2.7	間検0.94 2.7	花桜
	あおはな	（島根・飯石）
	（島根・安来）	第２あおひろ
	黒1884989	（島根・能義）
	喜亀忠	忠茂勝
	（鹿児・霧島）	（鹿児・姶良）
	黒原5136	かめてる
	直検1.30	（鹿児・霧島）
		華春福
みゆり	ももこ	（鹿児・鹿屋）
（鹿児・鹿屋）	（鹿児・鹿屋）	ひさこ
黒原1733249	黒原1657393	（鹿児・鹿屋）

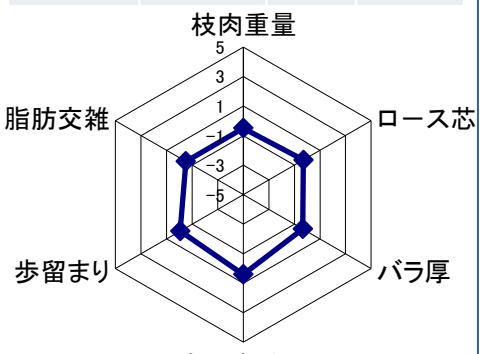
直接検定　1.24
現場検定（平均　n＝16）
BMS 7.2　枝重 457.7kg

父は「第１花国」で、糸桜系の遺伝子保有率が高いことから、多様な繁殖雌牛に交配可能です。
本牛は、発育や体積に優れ、母「みゆり」は分娩間隔等の繁殖能力にも優れていることから、産子の種牛性の改良にも期待できます。

測定値	
体高	152.0
胸囲	220.0
胸深	79.0
尻長	68.0
かん幅	58.0
体重	750.0

推奨交配パターン
兵庫系及び気高系の雌牛全般

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	40.915	C	0.882
ロース芯	15.127	C	0.879
バラ厚	0.854	C	0.863
皮下脂肪	−0.614	B	0.886
推定歩留	2.585	C	0.889
脂肪交雑	2.077	C	0.890
オレイン酸	0.545	B	—
MUFA	0.799	A	—



令和7年11月第61回育種価評価から



現場検定調査牛　去勢（亀花邦×優福栄×第5隼福）
枝肉重量 486kg　ロース芯71cm² BMSNo. 10

県外販売可

寿優福
としゆうふく

黒原６１６７（８３．３）
生年月日：平成２８年７月４日
産　　地：十和田市
繁 殖 者：沢目 寿弘


令和4年3月
基幹種雄牛指定

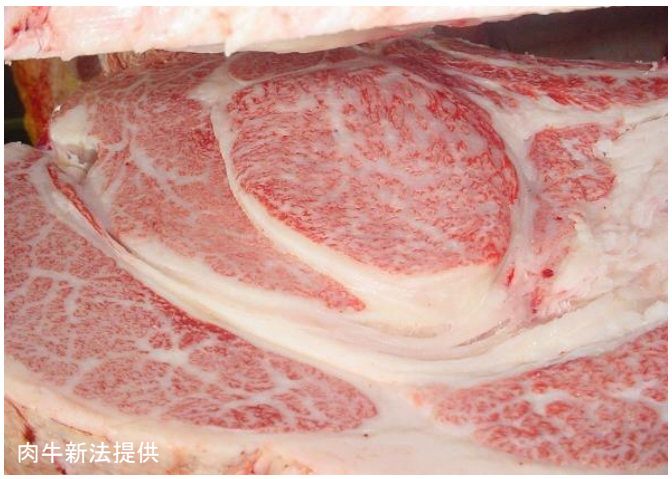
優福栄（青森・三戸） 黒14419 直検1.18 現検H21	福栄（鳥取・鳥取） 黒原2886 直検1.31 間検0.92 2.6	安福（岐阜）（兵庫・美方） はるみ（兵庫・美方）
	さわゆう（青森・下北） 黒原933908	丸優（兵庫・美方） 第２さわふく（青森・下北）
	第１花国（青森・つが） 黒12510 直検1.36 間検1.03 2.7	北国７の８（島根・大田） あおはな（島根・安来）
	ななこ（宮崎・えび） 黒原1190944	安平（宮崎・宮崎） ひろみ（宮崎・小林）
なな（青森・十和） 黒2219789		

直接検定　1.20
現場検定（平均　n＝18）
BMS 9.6　枝重 479.2kg

父「優福栄」、２代祖「第１花国」と青森県の名牛を２代重ねて交配して造成された種雄牛です。
母「なな」は枝肉共進会の名誉賞を輩出した高能力牛であり、脂肪交雑能力だけでなく、ロース芯面積などの改良も大いに期待できます。

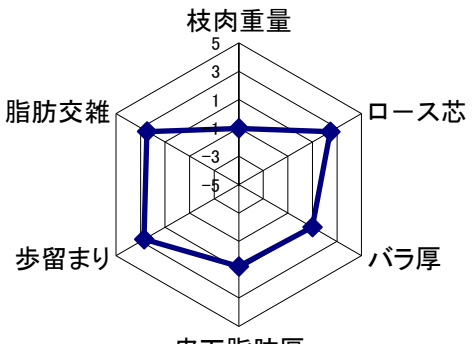
測定値	
体高	154.0
胸囲	218.0
胸深	80.0
尻長	63.0
かん幅	52.0
体重	780.0

推奨交配パターン
気高系の雌牛全般
「安福久」等の兵庫系の雌牛


肉牛新法提供

令和7年度あおもり和牛共励会　最優秀賞
去勢（寿優福×勝忠平×安福久）
枝肉重量 582kg　ロース芯109cm² BMSNo. 12

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	26.922	C	0.972
ロース芯	31.919	S	0.971
バラ厚	1.342	A	0.966
皮下脂肪	−0.744	A	0.973
推定歩留	5.451	S	0.974
脂肪交雑	3.735	S	0.974
オレイン酸	0.702	A	—
MUFA	0.655	B	—



令和7年11月第61回育種価評価から

「寿優福」産子　一般出荷枝肉成績

No.	母の父	祖母の父	月齢	枝重（kg）	ロース（cm²）	バラ厚（cm）	皮下脂（cm）	歩留	BMS（No.）	等級	備考
1	第1勝平茂	第3国気高	31.3	461.0	62.0	6.7	1.5	74.8	8	A-5	
2	百合白清2	勝忠平	30.3	526.0	96.0	8.3	2.1	79.0	11	A-5	
3	第1花国	平茂勝	28.1	534.0	72.0	8.9	2.0	76.2	5	A-4	
4	梅栄福	金太郎3	27.3	455.0	72.0	8.9	3.3	76.1	9	A-5	
5	第2花国	安福久	30.8	535.0	77.0	9.7	2.1	77.3	11	A-5	
6	白清85の3	安平	30.3	406.5	63.0	7.1	2.4	75.1	9	A-5	
7	美国桜	安福久	27.9	568.0	75.0	9.2	2.4	76.0	11	A-5	令和6年度あおもり和牛枝肉研究会・優良賞
8	勝早桜5	美津照重	26.9	429.0	74.0	7.3	1.8	76.9	8	A-4	
9	美津照重	第1花国	28.6	549.0	68.0	10.4	3.4	75.3	12	A-5	
10	平茂勝	安平照	28.2	553.0	67.0	9.3	1.5	76.1	7	A-4	
11	金太郎3	安福久	27.2	546.5	105.0	10.2	1.6	81.6	12	A-5	
12	福之姫	美津照重	22.3	419.0	63.0	8.4	1.8	76.3	7	A-4	
13	第1花国	安福久	27.0	434.0	64.0	7.8	1.9	75.8	10	A-5	
14	晴奥勝	隆之国	26.6	454.5	62.0	8.4	2.3	75.3	10	A-5	
15	美国桜	百合茂	30.2	489.0	102.0	10.8	1.8	82.1	12	A-5	令和7年度あおもり和牛共励会・優秀賞
16	幸紀雄	百合茂	28.6	491.0	62.0	8.0	3.0	74.0	6	A-4	
17	百合茂	美国桜	28.4	497.0	80.0	9.1	1.5	78.3	7	A-4	
18	勝忠平	安福久	28.2	582.0	109.0	9.8	1.8	81.2	12	A-5	令和7年度あおもり和牛共励会・最優秀賞
19	勝早桜5	安福久	27.1	470.0	75.0	9.0	2.1	77.4	9	A-5	
20	百合茂	安平照	27.5	433.0	64.0	8.4	1.6	76.5	9	A-5	
21	百合白清2	安福久	31.8	613.0	123.0	10.9	1.6	83.5	12	A-5	
22	糸福(大分)	第1花国	26.2	585.0	80.0	9.4	1.9	77.1	8	A-5	
23	幸紀雄	第1花国	27.1	446.0	75.0	8.5	1.9	77.5	12	A-5	
去勢平均（23頭）			28.2	499.0	77.8	8.9	2.1	77.4	9.4		

○めす

1	百合勝安	安平	29.0	416.0	74.0	8.8	1.7	78.2	11	A-5	
2	勝早桜5	美国桜	28.2	349.0	87.0	7.7	2.3	79.4	10	A-5	
3	美津百合	雪国	27.8	335.0	57.0	6.7	2.4	74.9	7	A-4	
4	百合茂	勝忠平	29.5	522.0	73.0	7.8	3.3	74.7	8	A-5	
5	美津照重	第2平茂勝	27.3	364.5	56.0	6.8	2.3	74.6	7	A-4	
6	芳之国	美津照重	28.1	396.0	49.0	8.8	2.2	74.7	10	A-5	
7	第2平茂勝	紋次郎	27.9	393.5	55.0	6.8	1.9	74.5	7	A-4	
めす平均（7頭）			28.3	396.6	64.4	7.6	2.3	75.9	8.6		
全体平均(30頭)			28.2※	9 ※	71.1※	8.3※	2.2※	76.6※	9.2		

※印の成績は（去勢平均＋めす平均）÷2で算出

県外販売可

幸紀花

ききはな

黒１５４０１（８４．１）
生年月日：平成２８年３月２２日
産　　地：上北郡横浜町
繁 殖 者：斗米 晃二



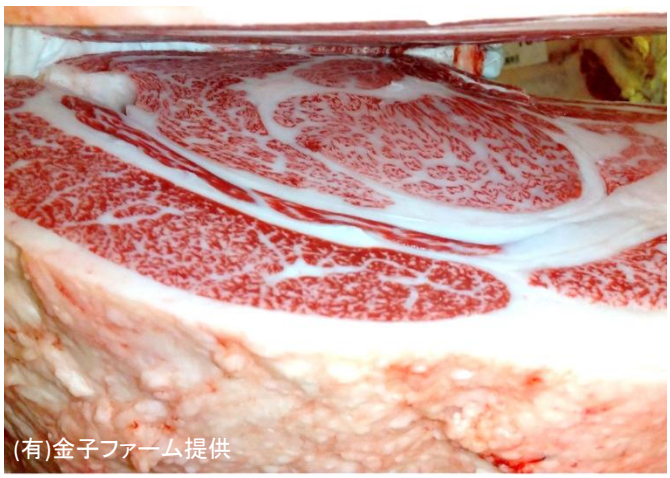
幸紀雄		百合茂		平茂勝	
（鹿児・曽於）		（鹿児・薩摩）		（鹿児・薩摩）	
黒原5297		黒原4086		しらゆり	
		直検1.54		（鹿児・薩摩）	
		現検H14		金幸	
		はつかね		（鹿児・曽於）	
		（鹿児・曽於）		やすこ	
		黒2092633		（鹿児・曽於）	
		第１花国		北国７の８	
		（青森・つが）		（島根・大田）	
		黒12510		あおはな	
		直検1.36		（島根・安来）	
		間検1.03 2.7		美津福	
もとくに		もとみつ		（兵庫・美方）	
（栃木・那須）		（栃木・那須）		もとじろう	
黒原1443702		黒原1280419		（栃木・那須）	

直接検定　1.25
現場検定（平均　n＝16）
BMS 8.3　枝重 476.6kg

父は気高系の「幸紀雄」、母「もとくに」は名牛「美国桜」の全きょうだいで母系「もとじろう」系の種雄牛です。
「もとじろう」系種雄牛らしく、体幅が充実しており、特にめす産子の平均BMSが10.2と優れています。

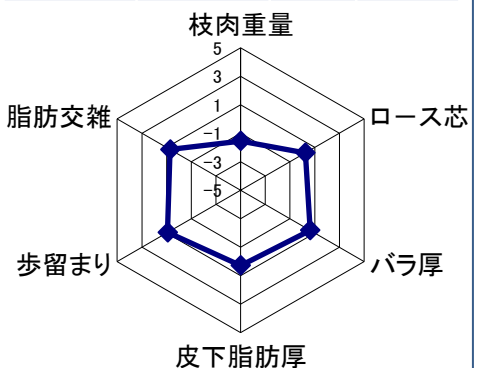
測定値	
体高	148.0
胸囲	226.0
胸深	81.0
尻長	60.0
かん幅	53.0
体重	820.0

推奨交配パターン
「安福久」等の兵庫系の雌牛
及び「勝忠平」系の気高系雌牛



現場検定調査牛　めす（幸紀花×聖香藤×勝忠平）
枝肉重量 515kg　ロース芯 93cm² BMSNo. 11

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	13.518	D	0.929
ロース芯	18.403	B	0.927
バラ厚	1.212	B	0.916
皮下脂肪	−0.573	B	0.932
推定歩留	3.604	A	0.934
脂肪交雑	2.749	A	0.935
オレイン酸	0.336	B	—
MUFA	0.451	B	—



令和7年11月第61回育種価評価から

県外販売可

忠光安

ただみつやす

黒原６０７３（８４．８）

生年月日：平成２７年８月１０日

産　　地：三戸郡三戸町

繁 殖 者：野中 耕進



勝忠平（鹿児・薩摩） 黒原3800 直検1.15 現検H13	平茂勝（鹿児・薩摩） 黒原2441 間検1.01 3.3	第２０平茂（鳥取・八頭）	
		ふくみ（鹿児・曽於）	
		忠福（兵庫・美方）	
	うめ２（鹿児・薩摩） 黒原788266	うめ（鹿児・鹿屋）	
	光平福（岐阜・下呂） 黒原3562 直検1.11 間検0.84 3.0	平茂勝（鹿児・薩摩）	
		ないじぇる（岐阜・高山）	
		安福(岐阜)（兵庫・美方）	
みつやす（岐阜・高山） 黒2143768	かねやす（岐阜・高山） 黒原1211438	かねきた２（鳥取・鳥取）	

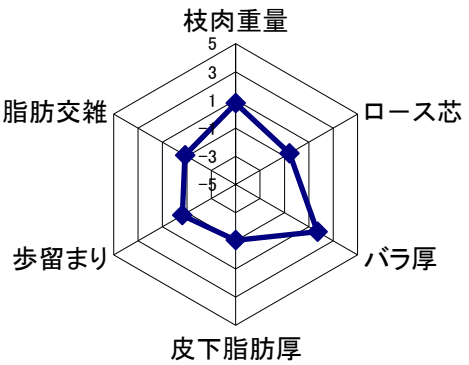
直接検定　1.15
現場検定（平均　n＝19）
BMS 7.3　枝重 482.0kg

父は気高系の名牛「勝忠平」、２代祖は岐阜全共で最優秀賞を受賞した「光平福」と、気高系種雄牛を重ねて交配した種雄牛です。気高系の遺伝子保有割合が高いので、適正交配の対象雌牛が多いのも特徴的です。

推奨交配パターン
「第１花国」等の糸桜系雌牛
及び兵庫系雌牛全般

測定値	
体高	153.0
胸囲	236.0
胸深	84.0
尻長	65.0
かん幅	57.0
体重	860.0

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	73.039	A	0.966
ロース芯	13.361	C	0.965
バラ厚	1.603	H	0.959
皮下脂肪	−0.099	C	0.968
推定歩留	2.012	C	0.969
脂肪交雑	1.881	C	0.969
オレイン酸	3.834	S	—
MUFA	3.748	S	—



令和7年11月第61回育種価評価から



現場検定調査牛　去勢（忠光安×寿恵福×糸安茂）
枝肉重量 581kg　ロース芯 68cm² BMSNo. 9

優福栄

ゆうふくさかえ

黒１４４１９（８１．９）
生年月日：平成１８年１２月１７日
産　　地：三戸郡田子町
繁 殖 者：青森県産業技術センター
畜産研究所和牛改良資源部



平成24年3月
基幹種雄牛指定

福栄 （鳥取・鳥取） 黒原2886 直検1.31 間検0.92 2.6	安福（岐阜） （兵庫・美方） 黒原930 間検0.83 4.1	安谷土井 （兵庫・美方）	
		ちずる （兵庫・美方）	
	はるみ （兵庫・美方） 黒原649705	菊照土井 （兵庫・美方）	
		てつや （兵庫・美方）	
	丸優 （兵庫・美方） 黒原1003 直検1.21	菊安土井 （兵庫・美方）	
		すずよし （兵庫・美方）	
		金福 （兵庫・美方）	
さわゆう （青森・下北） 黒原933908	第２さわふく （青森・下北） 黒1827582	第２さわはた３ （青森・下北）	

「第１花国」娘牛との交配を意識して作出した三代兵庫系の種雄牛です。
安定した上物率から本県の兵庫系のエースとして活躍しましたが、すでに本牛は死亡しているため、現在は「寿優福」が後継種雄牛として基幹種雄牛に指定されています。

測定値	
体高	149.0
胸囲	215.0
胸深	79.0
尻長	63.0
かん幅	51.0
体重	699.0

直接検定　1.07
現場検定（平均　n＝23）
BMS　6.7　枝重　447kg

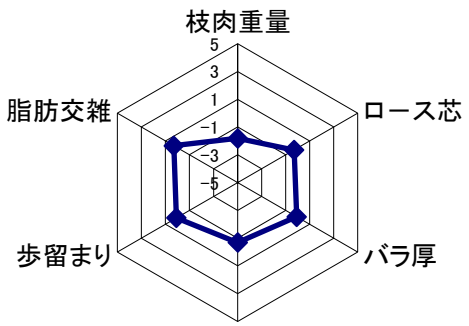
推奨交配パターン
（肥育用）「第１花国」の娘牛
（種牛用）兵庫及び気高系雌牛



（株）肉牛新報社「肉牛ジャーナル」提供

第13回JAみやぎ登米「仙台牛」枝肉共進会（平成28年2月10日）
ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ賞 去勢（優福栄×安福久×福華1）528kg 112cm² BMS12

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	6.921	D	0.994
ロース芯	15.067	C	0.994
バラ厚	0.948	C	0.994
皮下脂肪	−0.226	C	0.995
推定歩留	2.744	B	0.995
脂肪交雑	2.528	B	0.995
オレイン酸	1.056	H	—
MUFA	1.314	H	—



令和7年11月第61回育種価評価から

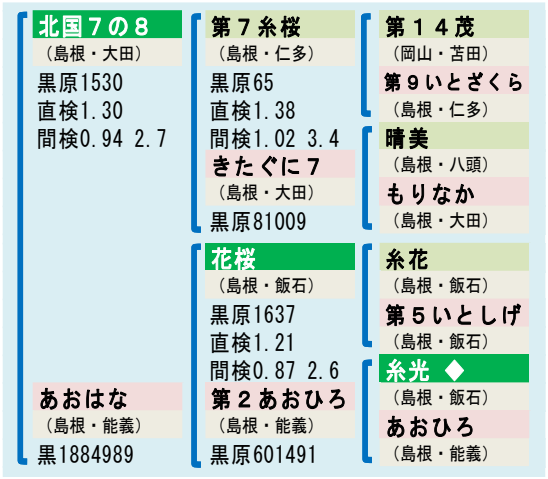
第１花国

だいいちはなくに

黒１２５１０（８２．８）
生年月日：平成５年５月２８日
産　　地：青森県つがる市
繁 殖 者：青森県産業技術センター
畜産研究所和牛改良技術部



平成11年8月
基幹種雄牛指定



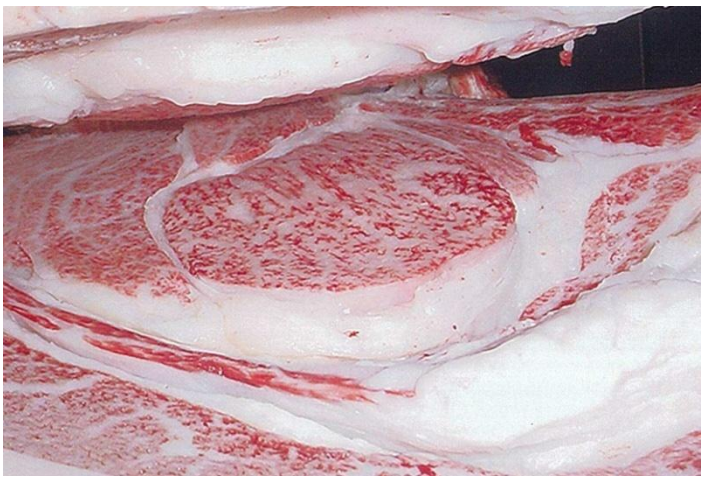
青森県を代表する質量兼備の種雄牛であり、本牛の産肉能力の高さは、全国規模の枝肉共例会での数々の受賞により証明済みです。

最近は「安福久」の娘牛との相性の良さのほか、２代祖や３代祖としても能力を発揮しています。

測定値	
体高	153.5
胸囲	221.0
胸深	84.5
尻長	62.5
かん幅	52.5
体重	826.0

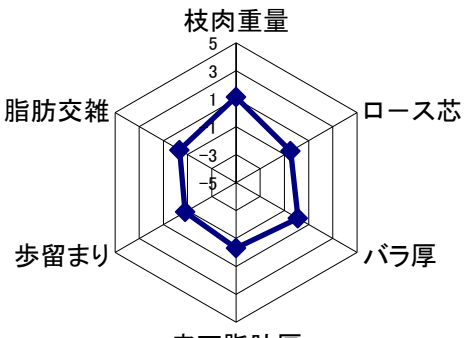
直接検定	1.36	
間接検定	1.03	2.7
H8	43	72.8

推奨交配パターン
兵庫系及び気高系の雌牛全般



第5回全農枝肉共励会名誉賞（平成15年7月11日）
去勢（第1花国×安福165の9×恒徳） 506kg BMS12

	育種価	ランク	正確度
枝肉重量	81.582	H	0.996
ロース芯	13.962	C	0.996
バラ厚	1.023	B	0.996
皮下脂肪	−0.357	C	0.997
推定歩留	1.823	C	0.997
脂肪交雑	2.172	C	0.997
オレイン酸	−0.361	C	—
MUFA	−0.336	C	—



令和7年11月第61回育種価評価から

県基幹種雄牛の指定状況

区分	指定年月	名　号	生年月日	産地	父	母の父
1	H10. 3	雪国	H 4. 2.10	兵庫県	菊安土井	安谷土井
2	H11. 8	第１花国	H 5. 5.28	つがる市	北国７の８	花桜
3	H11. 8	福安	H 2.12.10	十和田市	安福１６５の９	紋次郎
4	H13. 2	照神１２	H 6. 3.21	兵庫県	谷福土井	安美土井
5	H15. 2	国栄９７	H 9.10.30	横浜町	北国7の8	丸優
6	H20. 3	第２花国	H14. 8.18	つがる市	第１花国	北国７の８
7	H24. 3	優福栄	H18.12.17	田子町	福栄	丸優
8	H25. 2	光茂	H19. 8.15	十和田市	平茂勝	北国７の８
9	H26.11	平安平	H21. 5.22	三戸町	安平	平茂勝
10	H30. 2	春待白清	H24.11.27	十和田市	白清８５の３	安平
11	H31. 2	広清	H25. 4. 2	十和田市	白清８５の３	安平
12	R 3. 3	忠光安	H27. 8.10	三戸町	勝忠平	光平福
13	R 4. 3	幸紀花	H28. 3.22	横浜町	幸紀雄	第１花国
14	R 4. 3	寿優福	H28. 7. 4	十和田市	優福栄	第１花国
15	R 6. 3	亀花邦	H30.11.14	六戸町	第１花国	喜亀忠
16	R 7. 2	第１久桜	H30.10.13	横浜町	安福久	第１花国
17	R 8. 2	元忠百合	R元.11.24	横浜町	安亀忠	百合茂
18	R 8. 2	元国鵬	R 2. 1. 6	つがる市	平白鵬	第１花国



あおもり
和牛
プレミアム

あおもり
和牛



編集・発行
青森県農林水産部畜産課

